

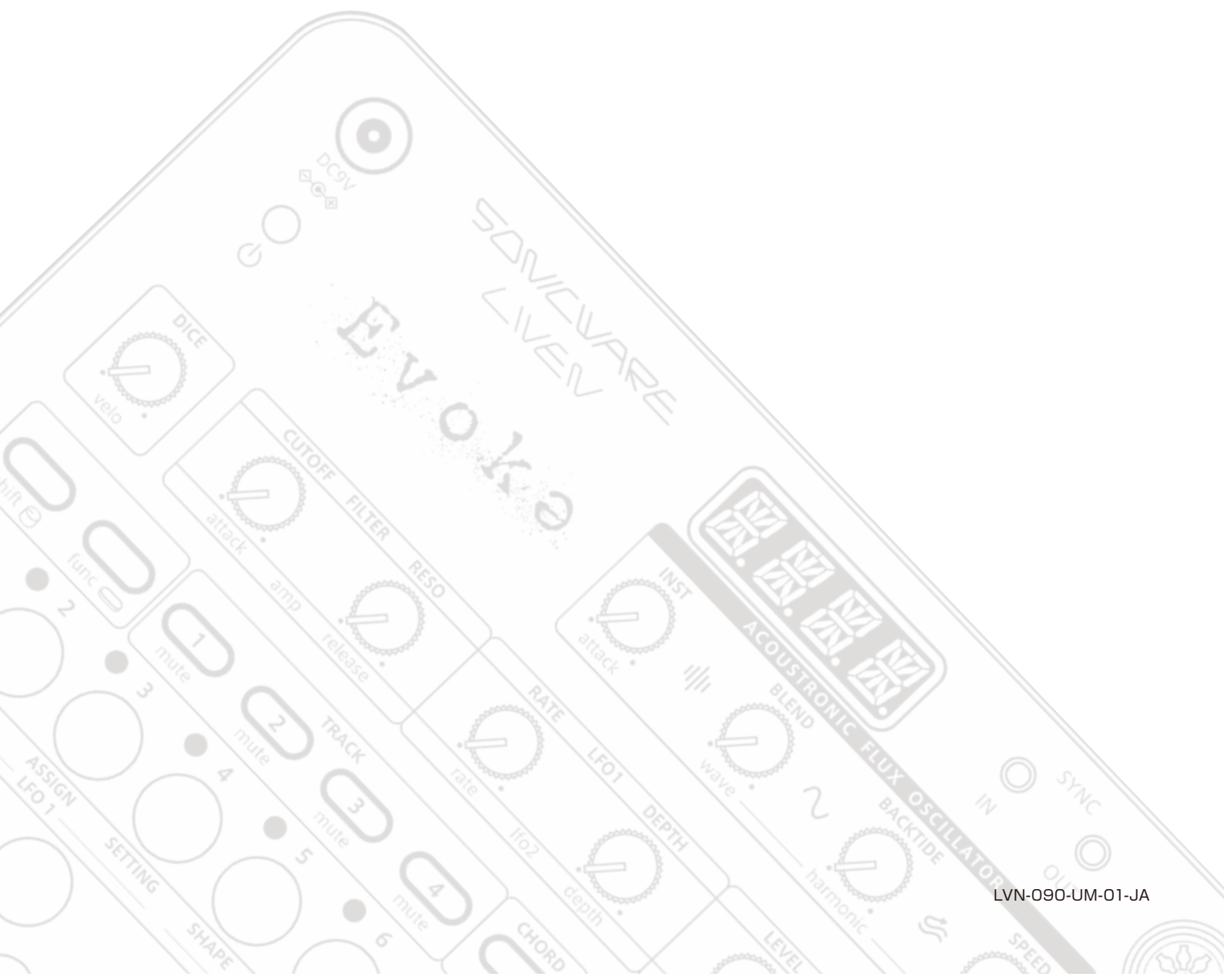
SONICVARE

LIVEN

Evokə

User's Manual

Rev.1



FCC regulation warning (for USA)

Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

法的免責事項

株式会社ソニックウェア（以下「SONICWARE」といいます）は、本文書が正確かつ最新のものであることを確保すべく努力致しますが、本文書に掲載されている内容に起因するいかなる賠償要求や損失に対してもその責任を一切負わないものとします。また、本文書の情報は、予告なく変更される可能性があります。SONICWARE は、随時、製品の仕様、プログラムの変更する権利を保有するものとします。SONICWARE は、本文書に示されるすべての誤りの責任を負いません。SONICWARE は、契約、不注意、その他の行為に関わらず、本情報の使用または機能、性能から生じるいかなる損害に対しても、責任を負いません。

著作権、登録商標について

- ・SONICWARE は株式会社ソニックウェアの登録商標です。
- ・MIDI は社団法人音楽電子事業協会（AMEI）の登録商標です。
- ・本文書内のその他の会社名、製品名、規格名、登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。
- ・本文書内のすべての商標および登録商標は各所有者の著作権を侵害する意図ではなく、識別のみを目的として記載されております。
- ・他の者が著作権を保有する音声ファイル、CD、レコード、ビデオ、テープ、放送、ストリーミング、作品などから録音する場合、私的使用の場合を除き、権利者に無断での使用は法律で禁止されています。
- ・著作権法違反に対する処置に関して、株式会社ソニックウェアは一切の責任を負いません。

安全に関する重要な注意事項

安全にご使用頂き、事故を未然に防ぐために、以下の注意事項を必ずお読みください。

<警告>この注意事項を守らないと使用者が死亡または重症を負う危険がある内容を示しています。

- ・AC アダプターでの動作
コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしないでください。
雷が発生しているとき、長期間使用しないときは AC アダプターをコンセントから抜いてください。
- ・電池での動作
市販の 1.5V 単三乾電池を使用してください。

ご使用の電池の注意事項をよくお読みになってください。

電池の＋／－極を正しく挿入してください。

新しい電池と古い電池や種類の違う電池を同時に使用しないでください。

長期間使用しないときは、電池を取り外してください。

液漏れが発生したら、電池ボックスや端子に付いた液をよく拭き取ってください。

- ・ ケースを開け分解、改造を加えないでください。
- ・ 落としたり、衝撃や無理な力を加えたりしないでください。
- ・ 液体をかけたり入れたりしないでください。
- ・ 異物がケース内に入らないようにしてください。
- ・ 大音量で使用しないでください。聴力損失の原因となりうる大音量が発生する可能性があります。
- ・ 本体を輸送する場合は、購入時の個装箱と緩衝材をご使用ください。
- ・ 本体の電源が入っている間は、布やビニールなどで包まないでください。
- ・ 電源コードが踏まれたり、圧力がかかったりしないようにしてください。
- ・ 下記の環境ではご使用にならないでください。故障の原因になります。
直射日光のあたる場所、40℃を超える環境、コンロなどの熱源の近く
温度が極端に低いところや高いところ
湿度が極端に高いところ、水のかかるところ
振動の多いところ、砂やほこりの多いところ
- ・ 故障や異常が発生した場合は、すぐに電源を切りご使用をおやめください。

<使用上の注意>

この注意事項を守らないと使用者が怪我や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- ・ ケーブルを接続するときや本体の電源を操作するときは、接続している各機器の入力レベルを最小にするか電源を OFF にしてください。
- ・ お手入れ
画面やケースが汚れたときは、柔らかいクロスで力を入れず乾拭きしてください。
薬品（アルコール、ベンジン、シンナー、クレンザーなど含む）を使用しないでください。
汚れが落ちない場合は、水で布を少しだけ湿らせよくしぼってから、拭いてください。
製品が完全に乾くまで電源を入れないでください。

はじめに

このたびは、SONICWARE LIVEN Evoke をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

LIVEN Evoke は、シネマティック・アンビエントからポスト・クラシカルまで、ドラムレスな 4 楽器編成が織り成す**アンビエント・ミュージックボックス**です。

末永くご愛用ください。

LIVEN Evoke の主な特長

- ・アコースティック楽器のエッセンスをシンセサイズし、独特なアコーストロニックサウンドを生み出す新しいシンセエンジン
- ・フレーズを極小グレインに分解し、音楽的なグリッチやテクスチャーへと変換・再構築する**グラニューラー・エフェクト**
- ・ベールに包まれたような空間「MIRAGE」をはじめとする多彩な 10 種類のリバーブ
- ・演奏の録音と音色の変化が記録できる Ambient 0 と同じ 4 トラック・シーケンサーを装備

Play On The Go:ポータブル、スピーカー搭載、乾電池駆動

電池駆動&スピーカー内蔵なので制作にもライブにも場所を選びません。

あらゆるデバイスとの同期

MIDI もしくは SYNC 端子搭載デバイスとのクロック同期が可能。

オーディオ SYNC 機能を使えば、LINE 端子を使い Teenage Engineering 社の PO シリーズとも同期が可能。

また、入力した SYNC クロック信号から MIDI クロックを生成するなど、種類の異なる端子間でもクロック同期信号をブリッジすることが可能。

目次

各部の名称	8	パターンの自動変更	28
接続例	10	パターンを複数選択して順番に演奏する (チェイン再生)	28
起動と終了	11	チェイン再生をループさせる	29
電源の準備	11	パターンごとに音量を調節する	29
起動	11	トラックの選択と基本調整	30
終了	11	トラックの選択	30
基本操作	12	トラックをミュートする	30
全体の音量を調整する	12	トラックの音量を調整する	31
スピーカーを ON にする / OFF にする	12	トラックのパンを調整する	31
オリジナルマークについて	12	インストゥルメントの調整	32
func ボタンの使い方	13	インストゥルメントを選択する	32
shift ボタンの使い方	13	Wave のブレンド量を調整する	32
shift ボタンのホールド	13	内蔵インストゥルメントリスト	33
トラックとパターン	14	エンベロープジェネレーター	35
トラックとは	14	アタックとリリースを調整する	35
パターンとは	14	フィルター	36
パターンとバンク	14	フィルターのタイプを変更する	36
パターンの基本操作	15	フィルターのカットオフを調節する	36
パターンの選択	15	フィルターのレゾナンスを調節する	36
パターンの再生	15	LFO	37
パターン 17 以降の選択	15	モジュレーションの速さと深さの調整	37
ノーマルリリースとナチュラルリリース	16	モジュレーションの設定	38
鍵盤での演奏とボイスモード	17	アサイン先のパラメーター	39
演奏をする	17	LFO の波形	39
鍵盤をホールドして演奏する	17	リバーブ	40
ベロシティを変える	17	リバーブを調節する	40
オクターブ範囲を変える	18	リバーブを調節する	41
ボイスモードを変更する	19	パターン変更時のリバーブのリセットを解除する	42
グライドを変更する (MONO / LEGATO のとき)	20	Acoustronic Flux Oscillator	43
アルペジエーターのタイプを変更する (ARP のとき)	21	Acoustronic Flux Oscillator とは	43
コード機能	22	バックタイドモジュレーションとは	43
コード機能の基本操作	22	オシレーターの調整	44
コード機能を ON にする	22	インストゥルメントを調整する	44
コードセットのスタイルを変更する	23	インストゥルメントのアタックレートを調整する	45
コードセットのトランスポーズを変更する	24	wave のタイプを変更する	46
コードの発音方法を変更する	25	wave のハーモニックを調整する	46
トラックのコピー	26	wave のピッチを調整する	47
トラックを別のトラックにコピーする	26	内蔵 WAVE リスト	48
別のパターンからトラックをコピーする	26	インストゥルメント変更モードの切り替え	49
パターンの基本操作	27	インストゥルメント変更時のパラメーター連動動作を切り替える	49
テンポを変更する	27		
パターンをリロードする	27		

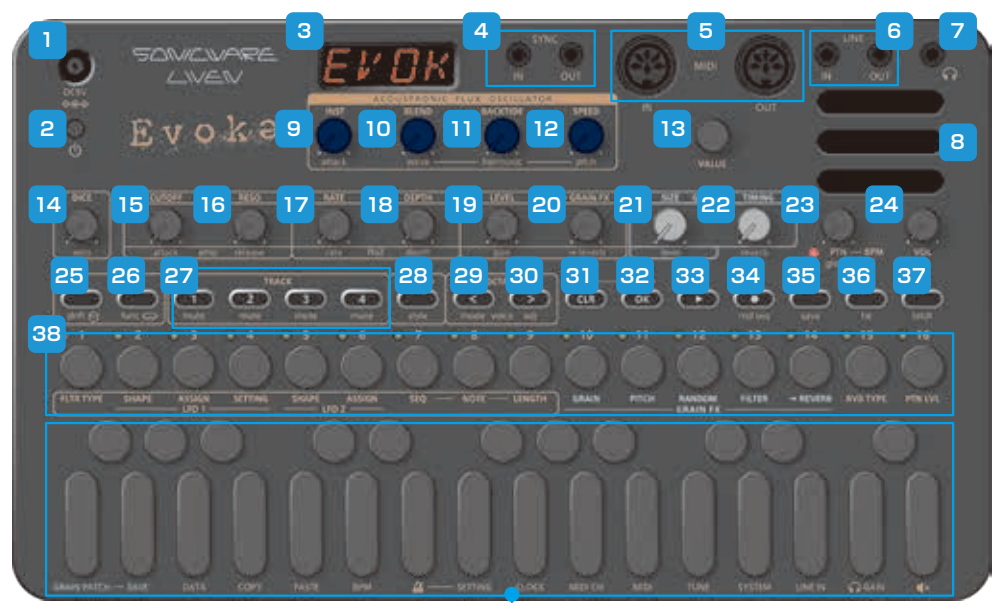
目次

グレイン FX	50	シーケンスの作成 -ダイレクトレコーディング-	72
グレイン FX とは	50	基本操作	72
グレイン FX の調整	52	シーケンスの作成 - 設定 -	74
グレインの設定を変更する	52	ゲート	74
グレイン FX のピッチシフト範囲を調整する	53	トランスポーズ	74
グレインのピッチシフトアライメントリスト	54	スウィング	75
グレインの発生タイミングをランダム化する	55	パラメーターロック	76
グレインフィルターのカットオフを調整する	56	パラメーターロックの基本操作	76
グレインフィルターのモジュレーション速度を調整する	56	パラメーターロック情報のクリア	76
グレインフィルターのモジュレーションデプスを調整する	56	パラメーターロック -ダイレクト入カ-	77
グレインフィルターの種類を変更する	56	ノブの操作を記録する	77
グレイン FX をリバーブにセンドする	57	パラメーターロック -リアルタイム入カ-	78
グレイン FX パッチの管理	58	リアルタイム入力をする (パラメーター REC)	78
グレイン FX パッチをロードする	58	シーケンスエフェクト	79
グレイン FX パッチを保存する	59	ランダム	79
グレイン FX パッチをリセットする	60	ランダム設定	79
パターン変更時のグレイン FX のリセットを解除する	61	ダイス	79
ステップシーケンサーの概要	62	シーケンスの消去	80
概要	62	ステップのクリア	80
LIVEN Evoke のステップシーケンサーの特長	62	シーケンスのノート情報を全てクリアする	80
シーケンスの作成 - 準備 -	63	トラックの音色だけ前回保存した状態に戻す	80
トラックの選択	63	パターンの保存	81
シーケンスの作成 - 設定 -	64	パターンを保存する (またはコピーする)	81
1 ステップのノートの長さを設定する	64	パターンを初期化する	81
シーケンスの長さを設定する	64	パターンのリネーム	82
シーケンスの作成 - ステップレコーディング -	65	パターンをリネームする	82
基本操作	65	テンポについて	83
ステップ 17 以降の選択	66	BPM モードを設定する	83
ステップのクリア	67	LINE IN の設定	84
ステップのコピー	67	ゲインを変更する	84
シーケンストラックを拡張コピーする	68	モノラル / ステレオを設定する	84
ステップレコーディング時に自動でステップを移動する (オートステップモード)	68	リバーブへのセンド量を設定する	84
タイ付きノート (長音) の入力を有効にする	69	グレイン FX へのセンド量を設定する	85
タイ付きノート (長音) を入力する	69	外部機器とのクロック同期 -クロック設定-	86
シーケンスの作成 -リアルタイムレコーディング-	70	概要	86
基本操作	70	クロックソースの設定をする	87
メトロノームをオン / オフする	71	Audio Sync 出力の設定をする	87
メトロノームの音量を調節する	71	SYNC IN の極性を設定する	88
プリカウントを設定する	71	SYNC OUT の極性を設定する	88
		外部機器とのクロック同期 -接続例-	89
		LIVEN Evoke がクロックマスターの場合	89
		外部機器がクロックマスターの場合	90

目次

クロックマスターである外部機器のクロックを他の端子にブリッジする場合	91	付録	108
MIDI	92	コードセット一覧	108
MIDI 送受信チャンネルを設定する	92	図 1 サウンドアーキテクチャ	111
パターン用パラメーターの MIDI チャンネルを設定する	92	仕様	112
選択したトラックにアクセスするための MIDI チャンネルを設定する (オートチャンネル)	92		
鍵盤を弾いたときに出力される MIDI チャンネルを設定する	93		
コントロールチェンジの送信を ON/OFF する	93		
MIDI クロックの出力を ON/OFF する	93		
MIDI OUT の設定をする	94		
MIDI コマンドの送受信の設定をする	94		
アクティブセンシングの送信の ON/OFF を設定する	94		
アクティブセンシングの受信の ON/OFF を設定する	95		
プログラムチェンジの送受信チャンネルの設定をする	95		
プログラムチェンジの送信を ON/OFF する	95		
プログラムチェンジの受信を ON/OFF する	96		
ユーザーデータのエクスポート・インポート ...	97		
接続について - PC/Mac とエクスポート・インポートする場合 -	97		
接続について - もう一台の LIVEN とエクスポート・インポートする場合 -	97		
1 つのパターンをエクスポートする	98		
1 つのパターンをインポートする	98		
ユーザーデータを丸ごとバックアップする ...	99		
ユーザーデータを復元する	100		
システム設定	101		
バッテリーの種類を設定する	101		
オートパワーオフの設定をする	101		
ミュートモードを変更する	102		
マスターチューンを設定する	102		
チューンモードを変更する	103		
ピッチベンドの範囲を変更する	103		
ヘッドフォンのゲインを設定する	103		
ノブの動きの設定をする	104		
工場出荷状態に戻す (ファクトリーリセット)	105		
システムのバージョンを確認する	105		
ファームウェアをアップデートする	106		
エラーコード一覧	107		

各部の名称

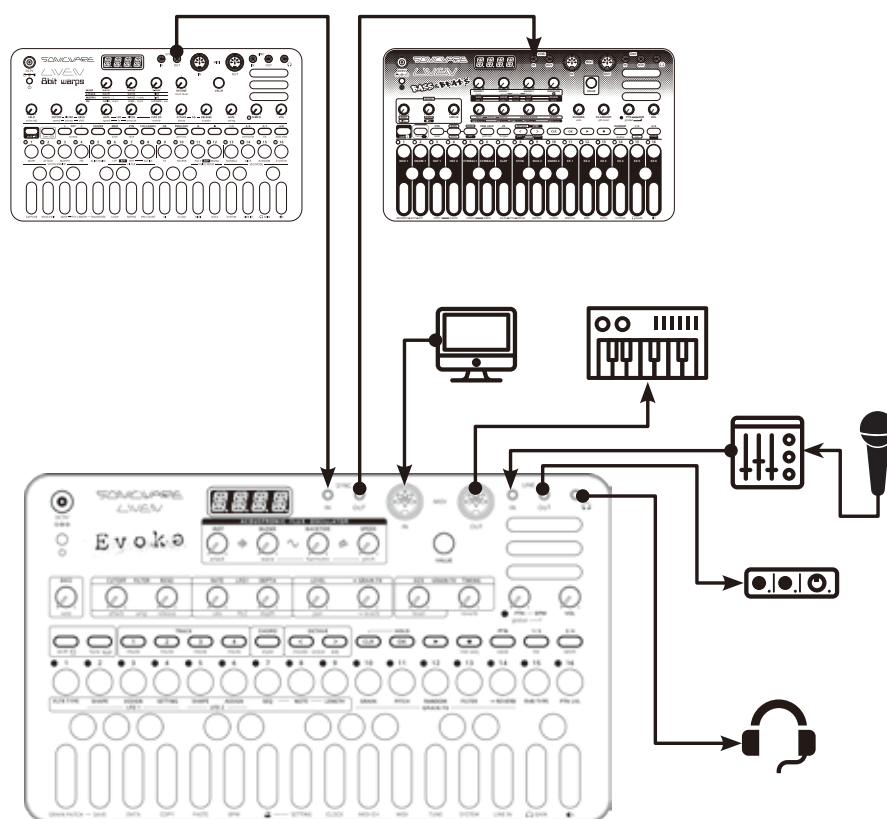


鍵盤キー			
GRAIN PATCH キー	GRAIN PATCH SAVE キー	DATA キー	COPY キー
PASTE キー	BPM キー	METRO キー	METRO SETTING キー
CLOCK キー	MIDI CH キー	MIDI キー	TUNE キー
SYSTEM キー	LINE IN キー	GAIN キー	SPK MUTE キー

各部の名称

1:DC9V 電源アダプターを接続	2:POWERスイッチ 長押しして本体の電源を オン/オフする	3:ディスプレイ	4:SYNCイン/アウト プット SYNC信号の入力と出力
5:MIDIイン/アウト MIDI信号の入力と出力	6:ラインイン/アウトプ ット 3.5mmステレオラインイ ンプットとステレオライン レベルオーディオ出力	7:ヘッドホンジャック ヘッドホン用オーディオ 出力	8:スピーカー スピーカー出力
9:INST/attackノブ	10:BLEND/waveノ ブ	11:BACKTIDE/ harmonicノブ	12:SPEED/pitchノ ブ
13:VALUEノブ	14:DICE/veloノブ	15:CUTOFF/attack ノブ	16:RESO/releaseノブ
17:RATE/rateノブ	18:DEPTH/depthノブ	19:LEVEL/panノブ	20:→GRAIN FX/→reverbノブ
21:SIZE/levelノブ	22:TIMING/reverb ノブ	23:PTN/global BPMノブ	24:VOLノブ
25:シフトボタン	26:ファンクションボタン	27:トラックボタン (1、 2、3、4)	28:CHORD/styleボ タン
29:OCTABE DOWN = voice mode	30:OCTAVE UP =voice adj	31:CLR	32:OK = HOLD
33:PLAY	34:REC = rnd seq	35:PTN = ptn save	36:1/3 = tie
37:2/4 = latch	38:ステップキー シーケンスのステップ位 置の指定に使用		
STEP1 = FLTR TYPE	STEP2 = SHAPE (LFO1)	STEP3 = ASSIGN (LFO1)	STEP4 = SETTING (LFO1&2)
STEP5 = SHAPE (LFO2)	STEP6 = ASSIGN (LFO2)	STEP7 = SEQ	STEP8 = NOTE
STEP9 = LENGTH	STEP10 = GRAIN	STEP11 = PITCH	STEP12 = RANDOM
STEP13 = FILTER	STEP14 = →reverb	STEP15 = RVB TYPE	STEP16 = PTN LVL

接続例

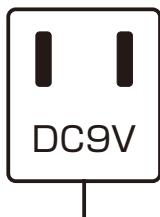


※接続するケーブル類は3m以下のもの
を使用してください。

起動と終了

電源の準備

AC アダプター (別売)



or

単三アルカリ乾電池 x 6



AC アダプターは必ず指定のものを使用してください。指定以外のACアダプターを使用した場合、故障の原因となります。

AC アダプター仕様※

電圧：9V 出力

電流：1A 以上

端子：EIAJ3 規格

(内径 1.7mm、外径 4.75mm)

極性：センター+

※ KORG 社 Volca 用アダプター KA350 相当

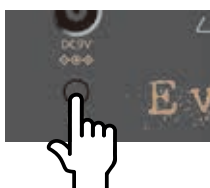
電池残量が少なくなるとディスプレイに BT.LO と表示されます。速やかに電池を交換してください。



ニッケル水素充電電池、リチウム電池を使う場合はバッテリーの設定を変更してください。(→ P.101)

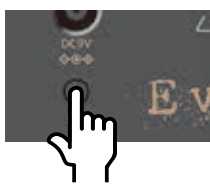
起動

- 1 ディスプレイに EVOK と表示されるまで POWER スイッチを長押し。



終了

- 1 ディスプレイが消灯するまで POWER スイッチを長押し。



作業中のデータは電源を切ると消えてしまいます。
必要に応じて保存してください。

基本操作

基本的な操作について説明します。

全体の音量を調整する

スピーカー、ヘッドホン、LINE OUT の音量を調整します。



Volume
0 ~ 127
真ん中 (63 ~ 64) が 0dB で -∞ ~ +6dB の範囲で変更できます

スピーカーを ON にする /OFF にする

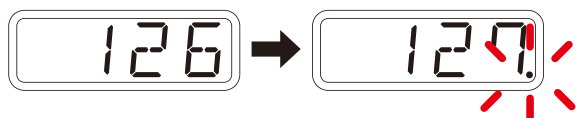
ヘッドホンを接続せずに内蔵スピーカーをミュートしたいとき (LINE OUT のみを使用中など) は、手動で OFF に切り替えてください。



Speaker	
MUTE	スピーカー OFF
SPK	スピーカー ON

オリジナルマークについて

表示中のパラメーターがパターンに保存されている元の状態と同じ場合は、ディスプレイ右下にドットが表示されます。



- ・ノブモードが Latch (→ P.104) の場合、ノブの位置とパラメーター値が左右のどちらにどの程度離れているかわかるようディスプレイのドットがアニメーションします。

パラメーター値がノブ位置より小さい時はドットが左に流れるように点灯、大きい時は右方向に点灯します。値が離れているほど速く流れます。

基本操作

func ボタンの使い方

LIVEN Evoke のボタンには2つの機能が割り当てられているものがあります。



上の例だと、**PTN** には save、**15** には RVB TYPE というサブ機能が割り当てられています。

func を押しながら、これらのボタンを押すことでサブ機能を呼び出すことができます。本マニュアルでは **func** を押しながらの操作は次のように記載します。

func + **15** RVB TYPE

func +  SPK MUTE

shift ボタンの使い方

LIVEN Evoke のノブには**大文字**と**小文字**でそれぞれ別の名前がついています。



ノブを回すと大文字のパラメーターを操作できます。

shift を押しながらノブを回すと、小文字のパラメーターを操作できます。

本マニュアルでは **shift** を押しながらのノブ操作は次のように記載します。

shift +  pan

shift ボタンのホールド

func を押しながら **shift** を押すことで **shift** をホールドすることができます。（オレンジ点灯）

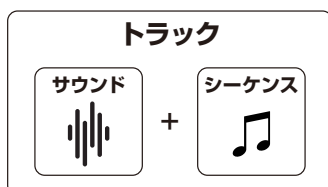
ホールド中は **shift** を押さなくても小文字のパラメーターを調整できます。

解除するには再度 **shift** を押します。

トラックとパターン

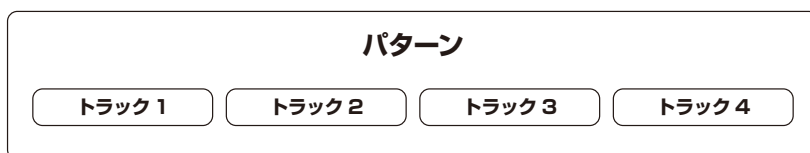
トラックとは

LIVEN Evoke は、4 つのトラックを搭載したアンビエントミュージックマシーンです。**トラック**とは、**サウンド**の設定と**シーケンストラック**（演奏情報）を1つにまとめたものです。LIVEN Evoke は、このトラックを 4 つ持っていて、各トラックごとに別々のサウンドでシーケンスを作成することができます。



パターンとは

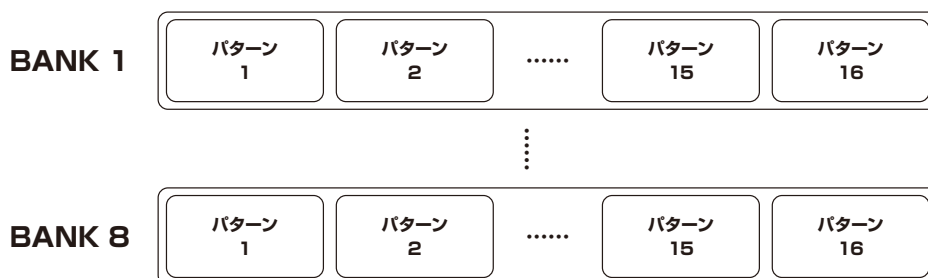
パターンとは、上記 4 つのトラックを 1 つにまとめたものです。1 つのパターンの長さは 1 ～ 64 小節ほどで、楽曲を構成する最小単位になります。



パターンとバンク

16 個のパターンが1つの**バンク**にまとめて格納されます。

LIVEN Evoke は 8 個のバンクがあり、合計 128 パターンを保存できます。



- ・BANK1 にはシーケンスが組まれたソングパターンのパターンプリセットが格納されています。
次のページを参考にして PLAY してみましょう。

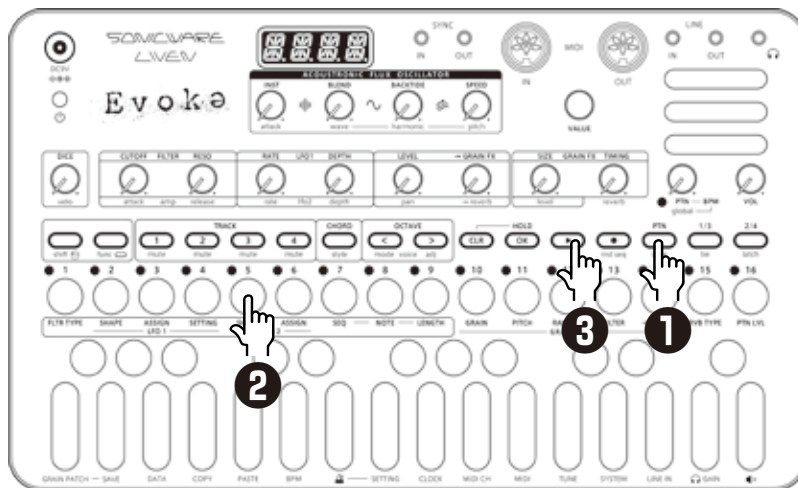
パターンの基本操作

パターンの選択

- 1 **PTN** を押す。
- 2 **1**～**16** を押す。
→パターンが選択されます。
(STEP1 =パターン 1 …
STEP16 =パターン 16)

パターンの再生

- 3 **▶** を押す。
再度押すと停止します。
func + **▶** を押すことでナチュラル
リリースで停止することもできます。



パターン 17 以降の選択

手順1の後に **<** **>** を押すことでバンクを変更してパターン 17 以降を選択できます。



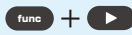
- ・パターン再生中に別のパターンを選択した場合、すぐに切り替わらず予約されます。
再生中のパターン終了後に選択したパターンに切り替わります。
- ・**PTN** を押した後、**VALUE** でもパターンを選択できます。

パターンの基本操作

ノーマルリリースとナチュラルリリース

LIVEN Evoke は再生中のパターンを停止するとき、2つのリリースモードで停止することができます。

リリースモードを使い分けることで、パフォーマンス時にも違和感なく再生停止を行うことができます。

	ノーマルリリース	発音しているトラックのサウンドを即座に停止します。
	ナチュラルリリース	シーケンスのみを停止します。各トラックは設定したリリースタイムに従ってリリースされます。

鍵盤での演奏とボイスモード

演奏をする

- 1 鍵盤を弾く。



鍵盤をホールドして演奏する

- 1 **OK** + 鍵盤でホールドされる。



- ・もう一度同じ鍵盤を弾くと解除されます。
- ・ **CLR** + **OK** で選択中のトラックのすべてのホールドが解除されます。
- ・ **CLR** + **▶** で全トラックのすべてのホールドが解除されます。

ベロシティを変える

鍵盤を弾いた時の強さを設定します。

shift +  **velo**

Velocity
0 ~ 127
値が大きいほど鍵盤を強く弾いたこと になります

鍵盤での演奏とボイスモード

オクターブ範囲を変える

- 1 、を押す。
1 オクターブ低く / 高くなります。

		+3 OCT
		+2 OCT
		+1 OCT
		
		-1 OCT
		-2 OCT
		-3 OCT



- ・SYSTEM 設定で INST モードを EASY に設定している場合、デフォルトのオクターブはインストゥルメントによって異なります。
-

鍵盤での演奏とボイスモード

ボイスモードを変更する

- 1  +  voice mode を押す。
ボイスモードを選択する。

 +  voice mode


VALUE

Voice Mode		
<i>POLY</i>	Polyphonic	ポリフォニック出力モード
<i>MONO</i>	Mono	リトリガーありの1 ボイス出力のモード
<i>LGT</i>	Legato	リトリガー無しの1 ボイス出力のモード
<i>ARP</i>	Arpeggiator	押さえている鍵盤を1 音ずつ発音するモード

鍵盤での演奏とボイスモード

グライドを変更する (MONO / LEGATO のとき)

1  +  voice adj を押す。

2  VALUE で速度を設定する。

 +  voice adj


VALUE

Glide
0 ~ 127
0 ~ 10000ms の範囲で時間が変化します

鍵盤での演奏とボイスモード

アルペジエーターのタイプを変更する (ARP のとき)

1  +  voice adj を押す。

2  VALUE でアルペジエーターのタイプを選択する。

 +  voice adj


VALUE

Arpeggiator		
UP	UP	
DOWN	DOWN	
U.D	UP DOWN	
D.U	DOWN UP	
U.A.D	UP&DOWN	
D.A.U	DOWN&UP	
RNDM	RANDOM	
UP+1	UP+1	
UP+2	UP+2	
DN-1	DOWN-1	
DN-2	DOWN-2	
P.O	PLAY ORDER	 鍵盤の押下順番 通りに発音



・アルペジエーターの発音速度は NOTE (→ P.64) と BPM (→ P.27) によって決まります。

コード機能

LIVEN Evoke には、白鍵キーボードを押すだけで、簡単にコードを演奏できる機能が搭載されています。

和音の発音する構成音を変化させることができ、パターンへの素早いコード入力やホールド機能を使ったドローン演奏に役立ちます。

コード機能の基本操作

コード機能を ON にする

- 1  を押す。
 を押すことでモードが切り替わります。

 CHORD	コードモード OFF (デフォルト)	キーボードが通常のクロマチックスケールで動作します。
 CHORD	コードモード ON	キーボードが選択中のスタイルのコードセットで発音します。



- ・コードモード使用中は白鍵のみ有効になります。
黒鍵は発音することができません。

コード機能の基本操作

コードセットのスタイルを変更する

コードセットのスタイルを変更することで様々なボイスングやテンションのコードを演奏することができます。

1  +  style を 1 回押す。

2  VALUE でコードセットのスタイルを変更する。


VALUE

Style
1 ~ 16
コードセットのスタイルを変更します。 全てのスタイルの詳細は別紙参照

コードセットの例：STYLE1 DIAT			
ルート音	インターバル	構成音	コード名
C	0、4、7、11	C E G B	Cmaj7
D	0、3、7、10	D F A C	Dm7
E	0、3、7、10	E G B D	Em7
F	0、4、7、11	F A C E	Fmaj7
G	0、4、7、10	G B D F	G7
A	0、3、7、10	A C E G	Am7
B	0、3、6、10	B D F A	Bm7-5



・内蔵コードセットは 1 ~ 8 番がダイアトニック・コードなど鍵盤の音階に沿ったスタイル、9 ~ 16 番が鍵盤の音程に関係なく、パッドのように順番にコード進行が得られる コードパッド・スタイルが用意されています。
スタイルの詳細は (→ P.108)

コード機能の基本操作

コードセットのトランスポーズを変更する

トランスポーズを変更することで、すべてのキーでコードセットを使用することができます。

1  +  voice mode を 1 回押す。

2  VALUE でキーを変更する。


VALUE

Transpose
-12 ~ 0 ~ +12
コードセットのトランスポーズを設定します。

コード機能の基本操作

コードの発音方法を変更する

コードセットの発音方法を変更できます。

1  +  voice adj を 1 回押す。

2  VALUE で発音方法を変更する。


VALUE

C.123	全ての構成音が発音します
C.1[]3	2 番目の構成音を抜いて発音します
C.[]23	1 番目の構成音を抜いて発音します
C.12[]	3 番目の構成音を抜いて発音します
A.UP	アルペジオの UP で発音します
A.DN	アルペジオの DOWN で発音します
A.UAD	アルペジオの UP&DOWN で発音します
A.UP.T	3 拍子アルペジオの UP で発音します
A.DN.T	3 拍子アルペジオの DOWN で発音します
A.UD	アルペジオの UP DOWN で発音します
A.UP+	アルペジオの UP +1 で発音します
A.DN-	アルペジオの DOWN-1 で発音します



- ・アルペジオ発音はすべてのインターバルの音を発音します。
3 拍子アルペジオは 3 番目の音までを発音します。

- ・ VALUE での選択時、 を同時押しすることで同時発音とアルペジオ発音を瞬時に切り替えることができます。

トラックのコピー

トラックを別のトラックにコピーする

作成したトラックを別のトラックにコピーすることができます。

- 1 コピーしたいトラックを **1** ～ **4** を押して選択。
- 2 **func** + **COPY** を押す。
- 3 ペーストしたいトラックを **1** ～ **4** を押して選択。
- 4 **func** + **PASTE** を押す。

別のパターンからトラックをコピーする

- 1 コピーしたいパターンのトラックを **1** ～ **4** を押して選択。
- 2 **func** + **COPY** を押す。
- 3 **PTN** を押し、**VALUE** でペーストしたいパターンを選択して **OK** を押す。
- 4 **func** + **PASTE** を押す。

COPY

DONE

パターンの基本操作

テンポを変更する



BPM
40 ~ 250
ディスプレイにテンポが表示されているときに、 🕒VALUEを回すと0.1単位で値を変更できます。 BPMを80より遅く、または160より速く設定する場合も、🕒VALUEを併用してください。

パターンをリロードする

1 **PTN** を押す。

2 **OK** を押す。
ライブパフォーマンス中などで元のサウンドに戻したい時に便利です。



パターンの自動変更

パターンを複数選択して順番に演奏する（チェイン再生）

- 1  を 2 回押す（オレンジに点灯）。
- 2  ～  を押す。
再生させたい順番でパターンを選択する。
再度  ～  を押すと解除される。
- 3  を押す。
選択された順番でパターンが再生される。



- ・もう一度  を押すとチェイン再生から抜けます。
-

パターンの自動変更

チェイン再生をループさせる

1  +  SYSTEM を押し、CN.LP を選択。

CN.LP

2  VALUE で、LOOP を選択する。

LOOP

パターンごとに音量を調節する

1  +  PTN LVL を押す。

2  VALUE で、調節する。

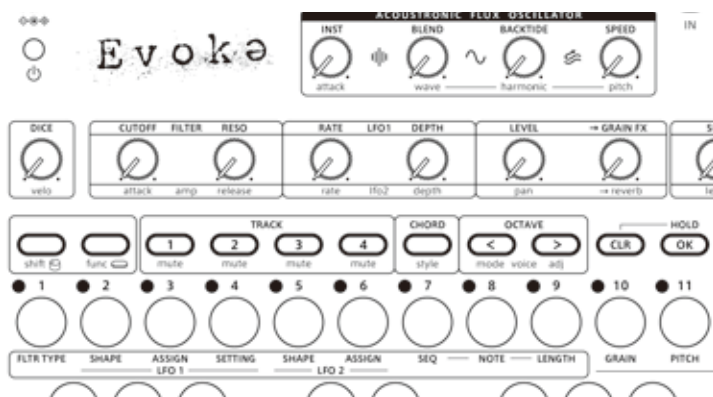

VALUE

Pattern Level
0 ~ 127
- ∞ ~ +6dB の範囲でパターンの音量が変化します

トラックの選択と基本調整

トラックの選択

- 1 選択したいトラックを **1** ~ **4** を押して選ぶ。
選択したトラックが赤く点灯し、ディスプレイにトラックナンバーが表示されます（選択していないトラックは緑に点灯）。
本体トップパネルの金色の枠で囲まれている部分が、トラックごとにコントロールできるパラメーターです。



トラックをミュートする

- 1 ミュートしたいトラックを **func** + **1** ~ **4** を押して選ぶ。
ミュートしたトラックがオレンジに点灯します。
func + オレンジに点灯したボタンを押すと
ミュートが解除されます。



- ・出荷状態では MT.MD（ミュートモード）が SEQ に設定されており、トラックをミュートしても演奏は可能になっています。
トラックのサウンドを完全にミュートしたい場合は、**func** + **SYSTEM** の **MT.MD** で **SND** を選択してください。
ミュートモードについては (→ P.102)

トラックの選択と基本調整

トラックの音量を調整する

- 1  LEVEL を回す。
選択中のトラックの音量を 0 ～ 127 (- ∞ ～ +6dB) の範囲で調整できます。

トラックのパンを調整する

- 1  +  pan を回す。
選択中のトラックのパンを L63 ～ CNTR ～ R63 の範囲で調整できます。

インストゥルメントの調整

インストゥルメントを選択する

1  INST を回す。



Instrument
1 ~ 34
インストゥルメントの選択をします。

Wave のブレンド量を調整する

1  BLEND を回す。



Blend
0 ~ 127
インストゥメントに混ぜる wave のブレンド量を調整します。 0 でインストゥルメントのみ発音し、127 で wave のみ発音するようになります。

インストゥルメントの調整

内蔵インストゥルメントリスト

	表示名	インストゥルメント	WAVE
1	PFGR	グランドピアノ	SIN.2
2	PFST	スタジオピアノ	SN.WB
3	PFUP	アップライトピアノ	SHMR
4	EPFH	エレクトリックピアノ	SIN.2
5	EPFM	FM ピアノ	SW.GL
6	TOYP	トイピアノ	SIN.3
7	XYLO	シロフォン	SIN.1
8	VIBR	ビブラフォン	SIN.2
9	MARMB	マリンバ	SIN.1
10	HARP	ハープ	SIN.1
11	KNTL	カンテレ	FILT
12	WDBS	ウッドベース	FILT
13	VILN	バイオリン	ST.EN
14	FIDL	フィドル	CRSH
15	CELO	チェロ	SW.PD
16	CNBS	コントラバス	SQ.FL
17	FLUT	フルート	SW.PH
18	PFLT	ペルーフルート	SIN.1
19	CLAR	クラリネット	SIN.1
20	OBOE	オーボエ	WN.EN
21	BASN	バスーン	SIN.2
22	TRBN	トロンボーン	FOLD

インストゥルメントの調整

	表示名	インストゥルメント	WAVE
23	TUBA	チューバ	SIN.1
24	HORN	ホルン	SHMR
25	TRMP	トランペット	SQ.CH
26	ASAX	アルトサックス	TR.DS
27	CMBL	チェンバロ	SIN.3
28	ORGN	オルガン	SIN.2
29	ARMN	アルモニカ	SN.WB
30	JGTR	ジャズギター	FOLD
31	HANG	ハングドラム	SIN.1
32	SITR	シタール	SQ.SW
33	TANP	タンプーラ	SQ.CH
34	EGTR	エレキギター	CRSH



- ・SYSTEM の INST 設定で NORM モードに設定すると (→ P.49)、Attack Rate と attack を除いた他のパラメーターを変えずにインストゥルメントのみ選択することができます。

エンベロープジェネレーター

アタックとリリースを調整する

エンベロープジェネレーターの amp attack で音の鳴り始めのアタック感、amp release で音の終わりの余韻を調整します。

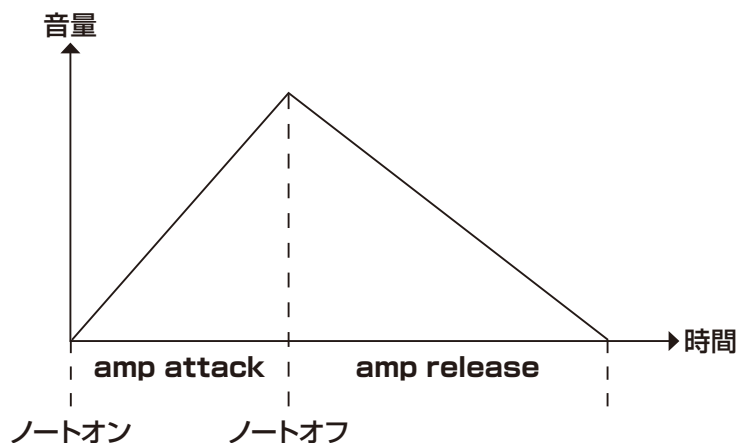
1 **shift** +  amp attack 、  amp release を回す。

shift +  amp attack

amp attack
0 ~ 127
0 ~ 5000ms の範囲でアタック時間が変化します

shift +  amp release

amp release
0 ~ 127
0 ~ 5000ms の範囲でリリース時間が変化します



フィルター

フィルターのタイプを変更する

1 **func** + 1 FLTR TYPE を押し、タイプを選択する。

func + 1 FLTR TYPE

Filter Type	
OFF	フィルターオフ
LPF	高域をカットするフィルター
HPF	低域をカットするフィルター
BPF	特定の帯域のみを通過させるフィルター

フィルターのカットオフを調節する

1  FILTER CUTOFF を回す。


FILTER CUTOFF

Filter Cutoff
0 ~ 127
70 ~ 14400Hz の範囲でカットオフ周波数が変化します

フィルターのレゾナンスを調節する

1  FILTER RESO を回す。


FILTER RESO

Filter Resonance
0 ~ 127
0.3 ~ 10 の範囲でレゾナンスが変化します
BPF では 0.5 ~ 3.3 オクターブの範囲で帯域幅が変化します

LFO

モジュレーションの速さと深さの調整

LF01

- ⌚ RATE - LF01 で速さ、
- ⌚ DEPTH - LF01 で深さを調整します。



LF02

- shift** + ⌚ RATE - LF02 で速さ、
- shift** + ⌚ DEPTH - LF02 で深さを調整します。

LFO

LIVEN Evoke には 2 基の LFO があり、オシレーターの各パラメーターをはじめ様々なパラメーターに LFO をかけることができます。

モジュレーションの設定

LFO の波形	アサイン先のパラメーター	トリガー	ディレイ
 +  SHAPE - LFO1  +  SHAPE - LFO2	 +  ASSIGN - LFO1  +  ASSIGN - LFO2	  +  SETTING×1 - LFO1   +  SETTING×3 - LFO2	  +  SETTING×2 - LFO1
LFO Shape	Assign	Trigger	Delay
次頁のリスト参照	次頁のリスト参照	OFF、1 ~ 8、INF	0 ~ 127
モジュレーションに使用する LFO の波形を  VALUE で選択します。	モジュレーションをかけるパラメーターを  VALUE で選択します。	モジュレーションのトリガー設定を  VALUE で選択します。 OFF はリトリガーオフ、INF はリトリガーオン、1 ~ 8 はリトリガー後に設定したサイクル回数モジュレーションがかかります。	モジュレーションがかかり始めるまでの時間を  VALUE で設定します (0 秒 ~ 8000 ミリ秒)。



・TRIG が OFF のときは DELAY は効かなくなります。

モジュレーション

アサイン先のパラメーター

Assign - LFO1/LFO2	
OFF	オフ
TUNE	TUNE
BLND	BLEND
BACKTID	BACKTIDE
SPEED	SPEED
HARM	harmonic
PITCH	PITCH
OLVL	オシレーターレベル (LFO1 のみ)
L1PT	LFO1 RATE (LFO2 のみ)
L1DP	LFO1 DEPTH (LFO2 のみ)
FLCO	フィルターカットオフ
FLRS	フィルターレゾナンス
PAN	pan
TLVL	LEVEL (トラックレベル)
->GR	→ GRAIN FX
->RV	→ reverb

LFO の波形

Shape - LFO1/LFO2	
SINE	サイン波
SQAR	矩形波
TRI	三角波
SAW	のこぎり波
RSAW	逆のこぎり波
RND	ランダム波
S.RND	スムーズランダム波
LOG	ログ波
R.LOG	逆ログ波
PL10	10%パルス波
PL25	25%パルス波
PL75	75%パルス波
PL90	90%パルス波
STP2	2 段階ステップ
STP3	3 段階ステップ
STP4	4 段階ステップ
STP5	5 段階ステップ
STP6	6 段階ステップ
STP7	7 段階ステップ
RMP+	上昇ランブ
RMP-	下降ランブ
SCN+	上昇スキャン (ユニポーラー三角波)
SCN-	下降スキャン (ユニポーラー三角波)

リバーブ

LIVEN Evoke は、空間の広さに応じた残響を再現したハイクオリティリバーブを搭載しています。

⊖→ reverb でトラックごとにリバーブへのセンド量を調節できます。

リバーブは以下のように設定します。

リバーブを調節する

1  + ⊖→ reverb を回してセンド量を調節する。

 +  → reverb

Reverb send

0 ~ 127

リバーブエフェクトへのセンド量を調節します。
0 でリバーブへセンドされません。



-  +  LINE IN で LINE IN 入力のリバーブへのセンド量も調節できます。
- リバーブへのセンド信号はプリフェーダーレベルです。
LEVEL を 0 にしてもリバーブへのセンド信号は消えません。
すべての音を消したい場合は LEVEL と  + → reverb の両方を 0 に設定してください。

2  + ⊖reverb を回して、リバーブのミックス量を調節する。

 +  reverb

Reverb

0 ~ 127

リバーブエフェクトの音量を調節します。
0 でエフェクト音が消えます。

リバーブ

リバーブタイプを変更する

1  +  RVB TYPE を押す。

2  VALUE でリバーブタイプを変更する。


VALUE

リバーブのタイプ	
 +  RVB TYPE	
OFF	OFF
SML.L	Small.L
SML.M	Small.M
SML.H	Small.H
MID.L	Mid.L
MID.M	Mid.M
MID.H	Mid.H
LPG.L	Large.L
LPG.M	Large.M
LPG.H	Large.H
MIRG	Mirage

リバーブ

パターン変更時のリバーブのリセットを解除する

リバーブを切らずにパターンをつなげたい場合は、パターンに同じタイプのリバーブを設定し、リバーブ・リセットを OFF に設定してください。

1 **func** + **SYSTEM** を 6 回押し、**R.RST** を選択。



2 **OFF** を選択。

Reverb Reset	
OFF	同じリバーブ・タイプにパターン・チェンジした場合は、リバーブをリセットしない
ON	パターン・チェンジした場合にリバーブをリセットする

Acoustronic Flux Oscillator

Acoustronic Flux Oscillator とは

Acoustronic Flux Oscillator とは、バックタイドモジュレーションを備えた 34 個のインストゥルメントと、それに対応するブレンド可能な wave の組み合わせによって構成された独自のシンセエンジンです。

34 個のインストゥルメントはアコースティック楽器の音響特性を再現しており、それぞれインストゥルメントによって多様なトランジェントの変化やバックタイドモジュレーションを味わえます。

対応する wave は、ブレンド量を調整可能で、専用のハーモニックモジュレーションとともにインストゥルメントに豊かな変化を加えます。
またインストゥルメントごとに設定されている wave の組み合わせは変更可能なので、ノブ一つでサウンドの彩りが大きく変わります。

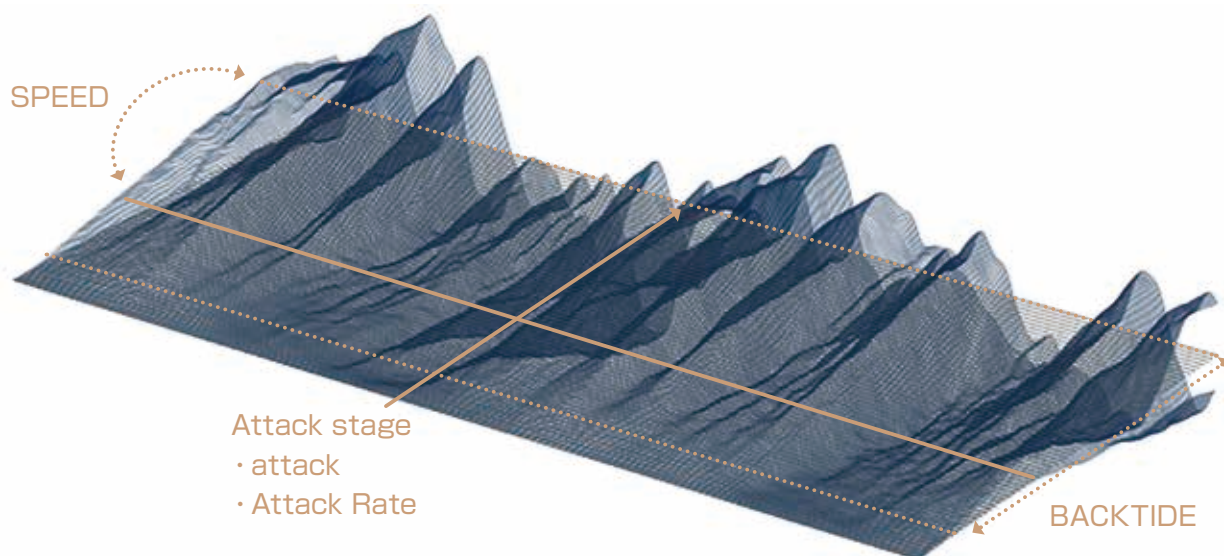
インストゥルメントが持つ美しい音響変化と、個性的な wave の組み合わせでドローンストリングスやベルのようなディケイをしたピアノ、奇妙なビブラフォンなど音作りを簡単におこなえます。

バックタイドモジュレーションとは

バックタイドモジュレーションとは、インストゥルメントのアタックステージを発音した後に満ち潮と引き潮を繰り返すようにインストゥルメントの波形を揺らし続けるモジュレーションです。

BACKTIDE ノブでモジュレーションで揺らす範囲を設定し、SPEED ノブでその速さを設定します。

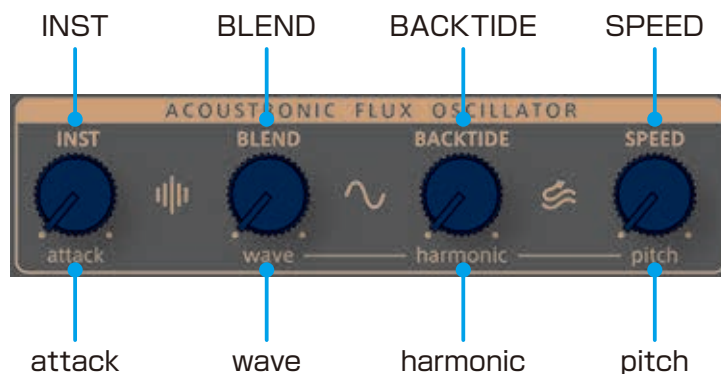
モジュレーションの範囲に合わせてモジュレーション速度も相対的に変化するので、有機的な音の再現やトレモロ、リバーブするようなエフェクティブなサウンドも作ることができます。



オシレーターの調整

インストゥルメントを調整する

それぞれのインストゥルメントには適切なアタックレートが割り当てられています。attack や BACKTIDE モジュレーションを調整することで、トランジェントやサスティンにさらに変化を加えることができます。



アタックカーブ	バックタイドモジュレーションの範囲	モジュレーションの速さ
 shift+attack	 BACKTIDE	 SPEED
Attack	Backtide	Speed
-63 ~ 0 ~ +63	0 ~ 127	0 ~ 127
インストゥルメントのアタックステージの読み込みカーブを調整します。 +方向で素早く読み込んでから徐々にゆっくりになる上向きのカーブ、-方向でゆっくり読み込んでから徐々に素早くなる下向きのカーブを設定します。	バックタイドモジュレーションの範囲を調整します。 0に設定するとバックタイドモジュレーションが止まります。	バックタイドモジュレーションの速さを調節します。 0に設定することで、モジュレーションが止まります。



- ・アタックステージはインストゥルメントによって読み込み速度が異なります。

オシレーターの調整

インストゥルメントのアタックレートを調整する

自然なアコースティックサウンドを再現するために割り当てされているアタックステージの読み込み速度は変更することができます。

1  ~  +  VALUE を回す。

 1 ~  4 +  VALUE

Attack Rate
-100 ~ +100
インストゥルメントのアタックレートを変更します。 +の値でアタックステージの読み込み速度が早くなり、-の値でゆっくりになります。



- ・アタックレートを変更すると、バックタイドモジュレーションが開始するまでの時間も変化します。

オシレーターの調整

wave のタイプを変更する

1  +  wave を回す。

 +  wave

wave
1 ~ 22
インストゥルメントに対応する wave を変更します。 インストゥルメントが変更されるとリセットされます。



- ・SYSTEM の INST 設定で NORM モードに設定すると (→ P.49)、インストゥルメントとのパラメーターの連動を解除することができます。

wave のハーモニックを調整する

1  +  harmonic を回す。

 +  harmonic

Harmonic
0 ~ 126、SYNC / 0 ~ 127 (WN.LP / WN.HP 選択時)
wave の周波数特性を調節します。 SYNC に設定すると BACKTIDE モジュレーションに同期します。 LFO がアサインされている場合、LFO の動作に加算されます。 wave が WN.LP または WN.HP の場合、ノイズ調整用フィルターのカットオフの値を設定します。

オシレーターの調整

wave のピッチを調整する

1  +  pitch を回す。

 +  pitch

Pitch
-240 ~ 0 ~ +240 / 0 ~ 127 (WN.LP / WN.HP 選択時)
wave のピッチを半音単位で設定します。 Value ノブでセント単位でも変更できます。 wave が WN.LP または WN.HP の場合、ノイズ調整用フィルターの レゾナンスの値を設定します。

オシレーターの調整

内蔵 WAVE リスト

1	SWPD	Saw Pad
2	SIN.1	Sine.1
3	SIN.2	Sine.2
4	SIN.3	Sine.3
5	TR.DS	Triangle Distortion
6	SWPH	Saw Phase
7	SQSW	Square Saw
8	SWGL	Saw Glass
9	SQCH	Square Chorus
10	SQFL	Square Flanger
11	SIN.WB	Sine Wobble
12	ST.EN	String Ensemble
13	WN.EN	Wind Ensemble
14	SOFT	Soft Formula
15	FOLD	Wavefold
16	SHMP	Shimmer
17	FILT	Filtered
18	CRSH	Crush
19	MDLT	Modulated
20	NOIZ	Noise
21	WN.LP	White Noise Low-pass
22	WN.HP	White Noise High-pass



- ・WN.LPとWN.HPを選択している場合、harmonic と pitch の動作が変化します。(→ P.47)
- ・WN.LPとWN.HP が選択されている場合、voice mode が MONO/LGT でリリース中の同一ノートのアタックステージのリトリガーがされなくなります。

インストゥルメント変更モードの切り替え

LIVEN Evoke には EASY と NORM の 2 種類のインストゥルメント選択モードがあります。

出荷状態では複雑なパラメーター操作をすることなくを楽しめるよう、インストゥルメントの変更時に OSC と LFO1 のパラメーターが適切な値に連動する EASY モードに設定されています。

NORM モードではすべてのパラメーターの連動を切ることで、一般的なシンセサイザーのようにパラメーターを一つずつ確認しながらエディットが可能です。

インストゥルメント変更時のパラメーター連動動作を切り替える

1  +  SYSTEM を 1 回押し、INST を選択する。



2  VALUE を回して設定を変更する。


VALUE

Instrument select mode	
EASY	インストゥルメント変更時に OSC と LFO1 を連動させます。
NORM	インストゥルメント変更時にパラメーターが連動しません。



- ・ NORM モードに設定している場合でも、attack と Attack Rate はインストゥルメント毎に切り替わります。

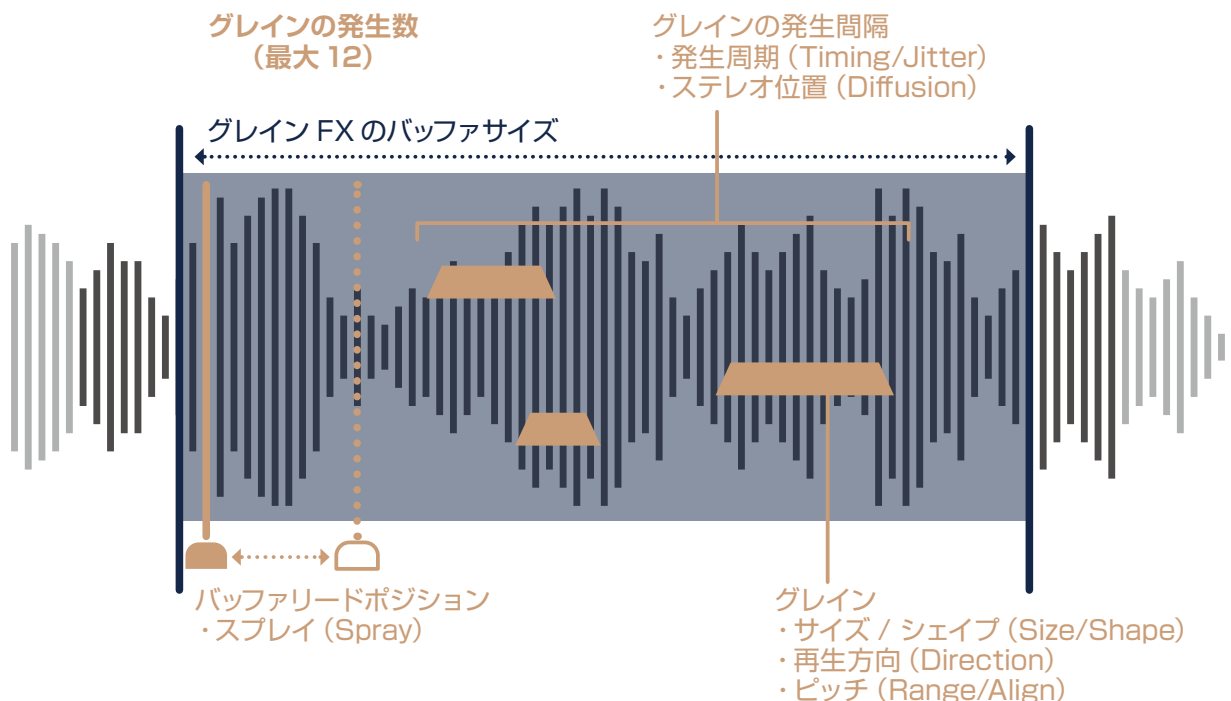
グレイン FX

グレイン FX とは

グレイン FX とは、センドされた音をリアルタイムに小さな粒状(グレイン)に分解し、それらのグレインを様々なタイミングで発生させ、そのグレインごとに再生方向や大きさ・ピッチなどを変化させることでサウンドを再構成するエフェクターです。

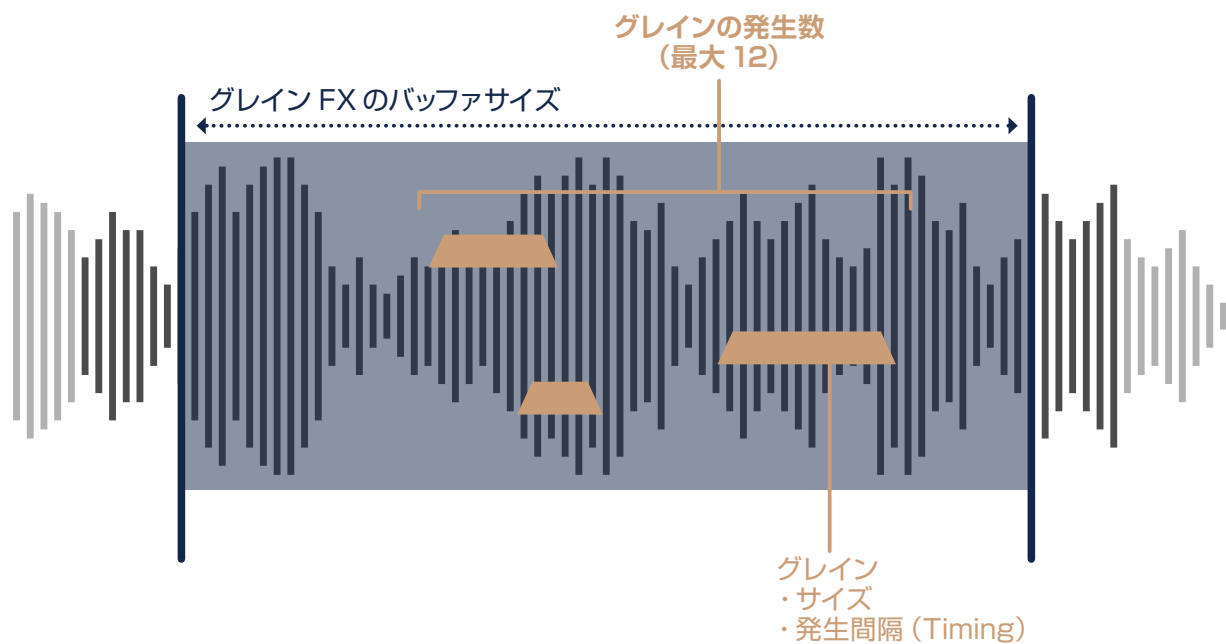
グラニューラー・エフェクトによって元の演奏が再構成された音は、アンビエント・ミュージックなどで使われるテクスチャーのような PAD 系サウンドに向いています。また、シロフォンのようなリズムカルなアタック音の強いサウンドをグラニューラー処理をすることで、複雑なディレイ音で構成されたような新しいリズムサウンドを作り出すこともできます。

LIVEN Evoke では、これらのグレインをフィルターで調整したり、内蔵リバーブへセンドすることで、複雑なサウンドスケープデザインが簡単におこなえるようになっています。



グレイン FX

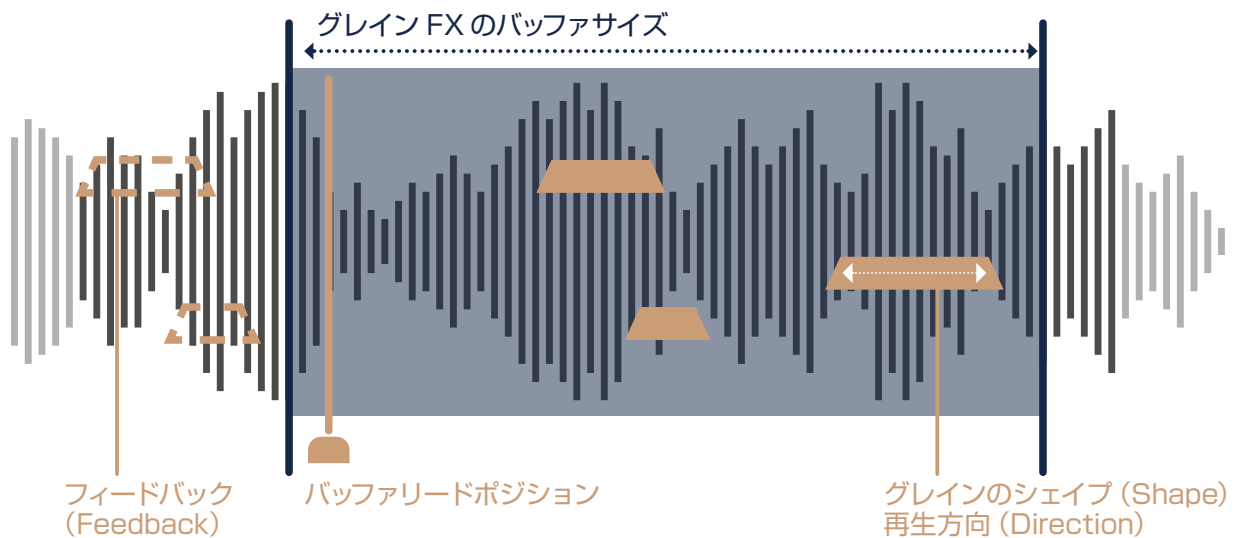
グレイン FX とは



グレインのサイズ	グレインの発生間隔	グレイン FX の音量
 SIZE	 TIMING	  +level
Size	Timing	Level
0 ~ 127	0 ~ 127	0 ~ 127
グレインのサイズを 10 ミリ秒 ~ 1 秒で設定できます。	グレインの発生周期を 1Hz ~ 250Hz で設定できます。 0 が最も発生周期が長く、右に回すと発生する周期が短くなっていきます。	グレインFX の音量レベルを調節できます。

グ레인 FX の調整

グレインの設定を変更する



1 **func** + **10** GRAIN を押して、設定したいパラメーターを選択する。

2 **VALUE** で設定を変更する。

グ레インのフィードバック量	グ레인の再生方向	グ레인のシェ입	グ레인 FX のバッファサイズ
FBK func + 10 × 1	DIR func + 10 × 2	SHP func + 10 × 3	BUF func + 10 × 4
Feedback	Direction	Shape	Buffer size
0 ~ 127	1 ~ 3	0 ~ 127	1/1、1/2、1/2、1/4、1/1T、1/4、1/8、1/2T、1/8、1/4T
グ레인のフィードバック量を調節できます。	グ레인のスキャン方向と再生方向を設定します。下のリストから選択できます。	グ레인のシェ입を調節できます。数値が大きいほど、グレイにフェードが強くなります。	グ레인FX 全体のバッファサイズを変更できます。バッファサイズと現在のテンポによって、Timing の周期が変化します

グ레인の再生方向	
--->	順方向にグ레인を再生します。
<---	逆方向にグ레인を再生します。
RND (Random)	ランダムな方向にグ레인を再生します。

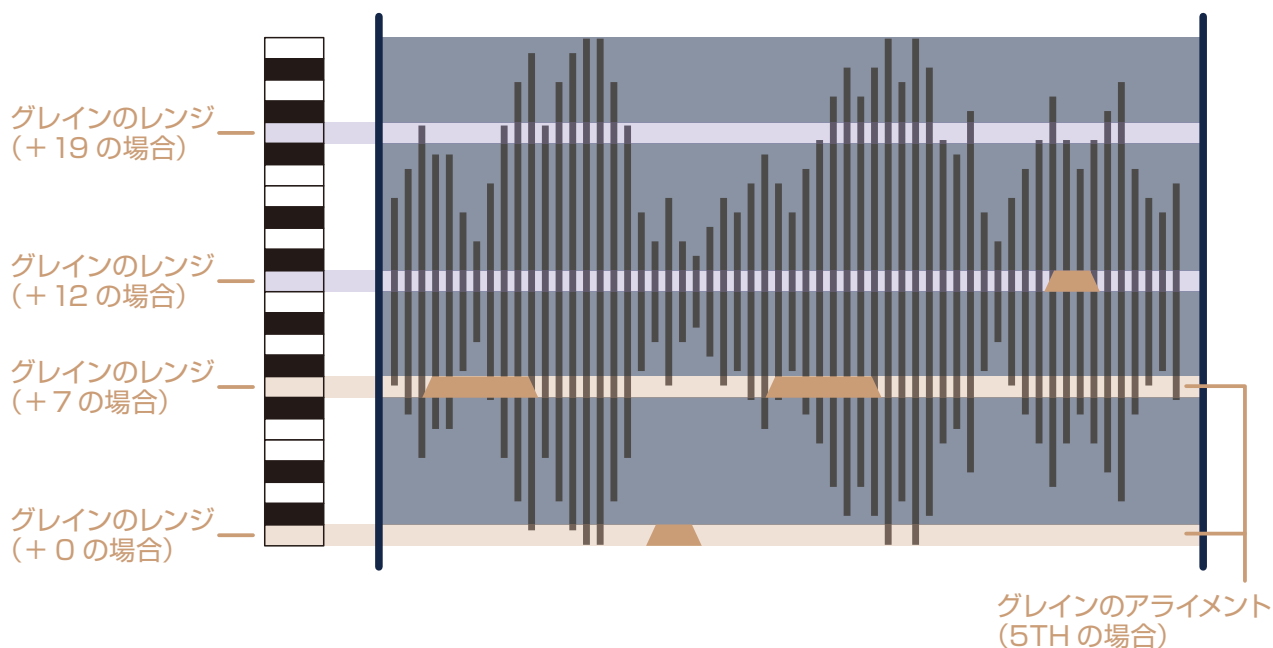
グレイン FX の調整

グレイン FX のピッチシフト範囲を調整する

LIVEN Evoke のグレイン FX は設定したパラメーターの範囲内でグレインをランダムにピッチシフトさせることができます。

ALIN を設定することで、入力された音をルートとしたスケール（音階）に沿ってグレインがランダムにピッチシフトします。

RANG でピッチシフトする音程の範囲を設定します。



1 **func** + **11** PITCH を押して、設定したいパラメーターを選択する。

2 **VALUE** で設定を変更する。

ピッチシフトのレンジ	ピッチシフトのアライメント
RANG func + 11 × 1	ALIN func + 11 × 2
Range	Align
-24 ~ 0 ~ +24	OFF、1 ~ 12
グレインがピッチシフトする範囲を設定します。 ALIGN が OFF の時は 50cent 単位でピッチシフトするようになります。	グレインをピッチシフトさせるスケールを選択します。 下のリストから選択できます。

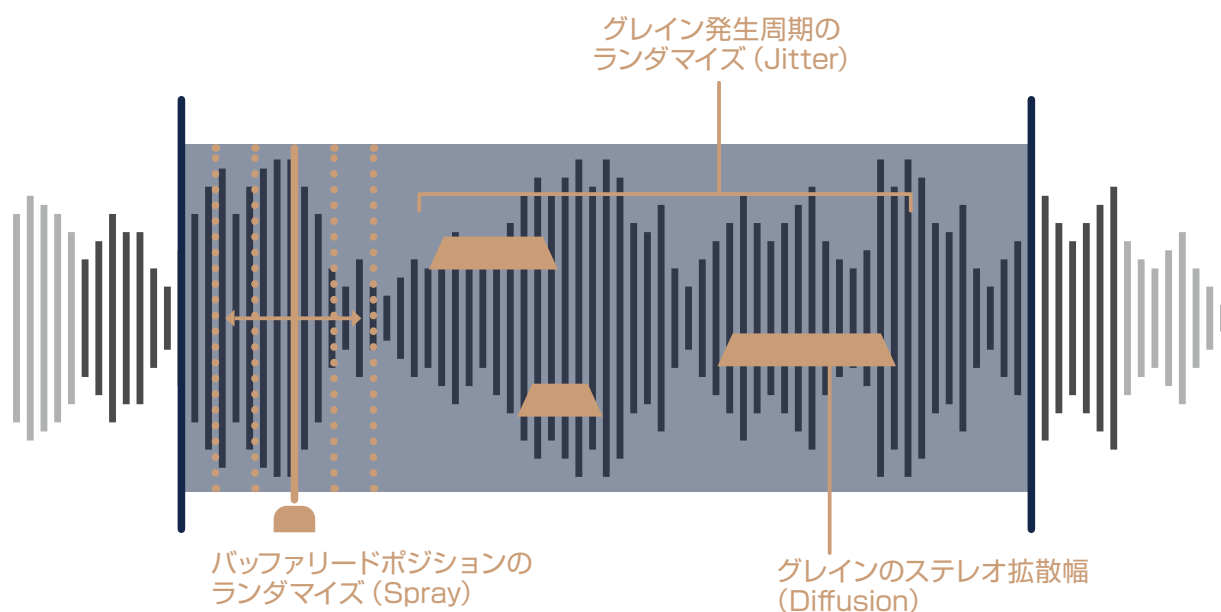
グレイン FX の調整

グレインのピッチシフトアライメントリスト

OFF	Off
OCT	Octave
5TH	Fifth
CHRM	Chromatic
MAJ	Major
MIN	Minor
P.MAJ	PentatonicMajor
P.MIN	PentatonicMinor
H.MIN	HarmonicMinor
PHRG	Phrygian
LYDI	Lydian
MXLD	Mixolydian
DORI	Dorian

グレイン FX の調整

グレインの発生タイミングをランダム化する



バッファ位置のランダム化	グレインの拡散幅	グレイン発生間隔のゆらぎ
SPRY func + 12 × 1	DIFF func + 12 × 2	JITTER func + 12 × 3
Spray	Diffusion	Jitter
0 ~ 127	0 ~ 127	0 ~ 127
バッファリード位置に揺らぎを設定します。 数値が大きいほど揺らぎの幅が広がります。	グレインの発生位置を左右に拡げます。 数値が大きいほどステレオ幅が広がります。 0の時はセンターでグレインが発生します。	グレインの発生間隔にゆらぎを設定します。

グレイン FX の調整

グレインフィルターのカットオフを調整する

1  +  FILTER を 1 回押して、FREQ を選択する。

FREQ

2  VALUE で設定を変更する。


VALUE

Frequency

0 ~ 127

グレインにかかるフィルターカットオフを調節できます。

グレインフィルターのモジュレーション速度を調整する

1  +  FILTER を 2 回押して、RATE を選択する。

RATE

2  VALUE で設定を変更する。


VALUE

Rate

0 ~ 127

グレインにかかるフィルターのモジュレーション速度を調節できます。

グレインフィルターのモジュレーションデプスを調整する

1  +  FILTER を 3 回押して、DEPT を選択する。

DEPT

2  VALUE で設定を変更する。


VALUE

Depth

0 ~ 127

グレインにかかるフィルターのモジュレーション量を調節できます。

グレインフィルターの種類を変更する

1  +  FILTER を 4 回押して、TYPE を選択する。

TYPE

2  VALUE で設定を変更する。


VALUE

Type

OFF、LPF、HPF、BPF

グレインにかかるフィルターのタイプを変更します。

グレイン FX の調整

グレイン FX をリバーブにセンドする

グレイン FX をリバーブにセンドすることでシマーリバーブのような効果など様々な空間エフェクトを表現できます。

1  +  → REVERB を 1 回押す。

2  VALUE でセンド量を変更する。


VALUE

Reverb send (GrainFX)
0 ~ 127
リバーブに送るグレイン FX の量を調節できます。 0 に設定すると、グレイン FX はセンドされません。



- ・リバーブへのセンド信号はプリフェーダーレベルです。
グレイン FX の level を 0 にしてもリバーブへのセンド信号は消えません。
グレイン FX のすべての音を消したい場合は level と→ REVERB の両方を 0 に設定してください。

グレイン FX パッチの管理

LIVEN Evoke にはグレイン FX を簡単に使用できるように、パターンにロード可能な 16 個のグレイン FX パッチがあらかじめ用意されています。

これらのグレイン FX パッチにはユーザー自身の好みの設定を上書き可能なため、よく使う設定をパッチに保存することでいつでも素早く設定を呼び戻すことができます。

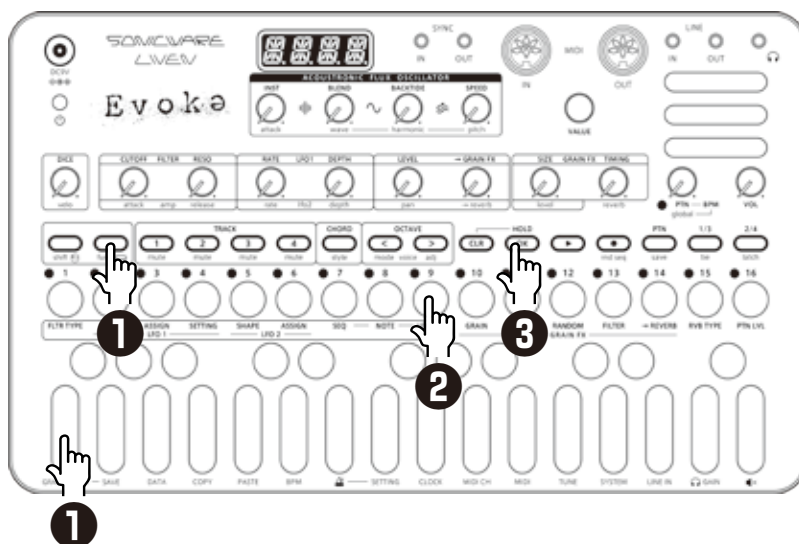
グレイン FX パッチをロードする

1 **func** + **GRAIN PATCH** を 1 回押し、LOAD を選択する。

LOAD

2 **1** ～ **16** を押して、使用したいパッチを選択する。

3 **OK** を押す。



- ・ロード前のグレイン FX 設定は失われます。
元の設定に戻したい場合は、ロード前にパターンを保存して（→ P.81）リロード可能な状態にすることをお勧めします。

グ레인 FX パッチの管理

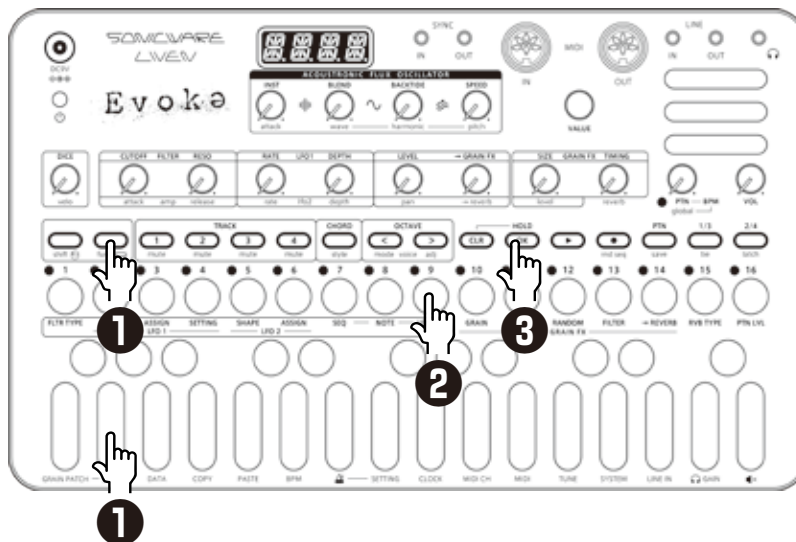
グ레인 FX パッチを保存する

1 **func** + **GRAIN PATCH SAVE** を押す。

SAVE

2 **1** ~ **16** を押して、保存したいパッチを選択する。

3 **OK** を押す。



- **CLR** でキャンセルできます。

グレイン FX パッチの管理

グレイン FX パッチをリセットする

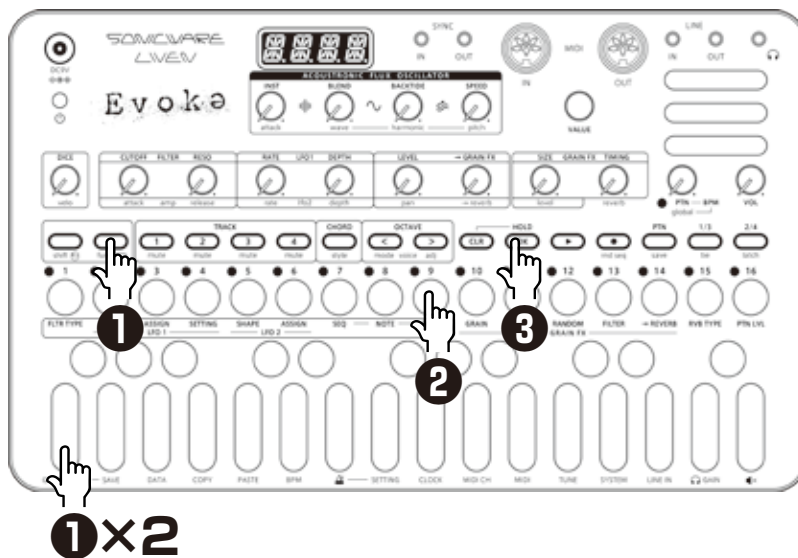
GranFX パッチをリセットすることで出荷時のパッチ状態に戻すことができます。

1 **func** + **GRAIN PATCH** を 2 回押し、**RST** を選択する。

RST

2 **1** ～ **16** を押して、使用したいパッチを選択する。

3 **OK** を押す。



- **CLR** でキャンセルできます。

- リセットされたパッチは元に戻せません。
本操作は慎重に行ってください。

グレイン FX の調整

パターン変更時のグレイン FX のリセットを解除する

エフェクトを切らずにパターンをつなげたい場合は、パターンに同じパラメーター設定のグレイン FX を設定し、グレイン・リセットを OFF に設定してください。

1 **func** + **SYSTEM** を 5 回押し、G.RST を選択。

G.RST

2 OFF を選択。

GrainFX Reset	
OFF	BPM とグレイン FX のバッファサイズが同じ設定のパターンに変更した場合は、グレイン FX をリセットしない
ON	パターン・チェンジした場合にグレイン FX をリセットする

ステップシーケンサーの概要

概要

LIVEN Evoke のステップシーケンサーは、演奏情報やパラメーター情報を格納した**複数のステップ**（シーケンス）を順番に再生していきます。



ステップは**ノート情報、パラメーター情報**を格納しています。

シーケンスは複数のステップをまとめたものです。



シーケンサーはステップ1から順番に再生していきます。

LIVEN Evoke のステップシーケンサーの特長

LIVEN Evoke に搭載されているシーケンサーには下記の特長があります。

3つの入力方式

ステップレコーディング

シーケンサーを停止させた状態で各ステップにノートを記録

リアルタイムレコーディング

鍵盤を演奏しながらノートをステップに記録

ダイレクトレコーディング

シーケンサーの再生中でも直接ステップにノートを記録

自由度の高いシーケンス

最大 64 ステップシーケンス

トラックごとに 1 ～ 64 ステップまで自由にステップ数を設定可能

さまざまなノート長に対応

1 ステップの長さを全音符から 32 分音符の長さまで自由に設定可能

シーケンスの作成　－ 準備 －

トラックの選択

1  ～  のいずれかを押し、シーケンスを作成したいトラックを選択。



- ・最大同時発音数を超えた場合は、優先度の低いトラックのノートからノートオフされます（優先度はトラック 4 > トラック 1 の順です。ただし、リリース中の音がある場合は、トラックの優先度に従いリリース中の音が優先してノートオフされます）。
-

シーケンスの作成 ー設定ー

1 ステップのノートの長さを設定する

1 **func** + **8** NOTE を押す。

2  VALUE で、ノートを選択。


VALUE

Note	
1/1	全音符
1/2	2 分音符
1/.4	付点 4 分音符
1/4	4 分音符
1/.8	付点 8 分音符
1/2T	2 拍 3 連符
1/8	8 分音符
1/.16	付点 16 分音符
1/4T	1 拍 3 連符
1/16	16 分音符
1/32	32 分音符

シーケンスの長さを設定する

1 **func** + **9** LENGTH を押す。

2  VALUE で、長さを選択。


VALUE

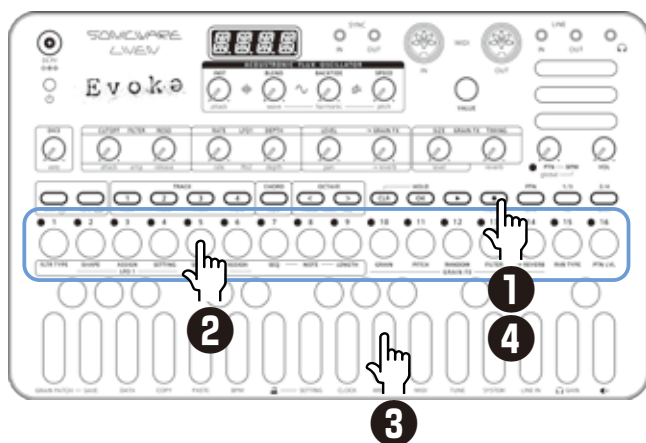
Length
1 ~ 64 (単位 : ステップ)

シーケンスの作成 ステップレコーディング

ステップレコーディングでは再生を停止した状態でじっくりシーケンスを作成することができます。

基本操作

- 1 停止中に  を押す（赤に点灯）。
- 2 ノートを入力したい位置の ① ～ ⑬ を押す。
現在地のステップ LED が点滅し、ノートが入力されているステップの LED は点灯します。
- 3 鍵盤を押してステップにノートを入力。
再度、同じ鍵盤を押すとステップからそのノートが削除されます。
手順2～3を繰り返しシーケンスを作成します。
- 4  を押しステップレコーディングを終了する。



シーケンスの作成 ステップレコーディング

ステップ 17 以降の選択

手順1の後に 、 を押すことでステップ 17 以降を選択できます。

ステップ 1 ～ 16 の選択：1/3 キーを 1 回押す。



ステップ 17 ～ 32 の選択：2/4 キーを 1 回押す。



ステップ 33 ～ 48 の選択：1/3 キーを 2 回押す。



ステップ 49 ～ 64 の選択：2/4 キーを 2 回押す。



- ・手順2で  ～  を押すと記録されているノートが発音し続けますが仕様です。
 - ・ VALUE でもステップを移動できます。
 - ・シーケンスの長さの設定によって、ページキーが有効 / 無効になります。
-

シーケンスの作成 ステップレコーディング

ステップのクリア

- 1 **CLR** + **1** ~ **16** を押す。
ステップレコーディング中は、そのステップのノート情報のみがクリアされます。

ステップのコピー

- 1 ステップレコーディング中に **1** ~ **16** でコピーしたいステップを選択。

- 2 **func** + **COPY** を押す。

COPY

- 3 **1** ~ **16** でペーストしたいステップを選択。

- 4 **func** + **PASTE** を押す。

DONE

コピー元ステップのノート情報や
パラメーターロック情報がコピー先にペーストされます。



・タイ情報はコピーできません。

シーケンスの作成 ステップレコーディング

シーケンストラックを拡張コピーする

作成したシーケンスを複製して 2 倍の長さにすることができます。

- 1 拡張コピーしたいシーケンスのトラックを **1** ～ **4** を押して選択。
- 2 **func** + **10** LENGTH を押す。
- 3 **shift** を押しながらかい VALUE を回して、2 倍に複製する。

ステップレコーディング時に自動でステップを移動する (オートステップモード)

ステップレコーディング中、鍵盤を押下するたびに次のステップへ自動で移動します。

- 1 **func** + **SYSTEM** を 4 回押し、A.STP を選択。

A.S.T.P

- 2 かい VALUE を回してオートステップモードの ON / OFF を切り替える。

シーケンスの作成 ステップレコーディング

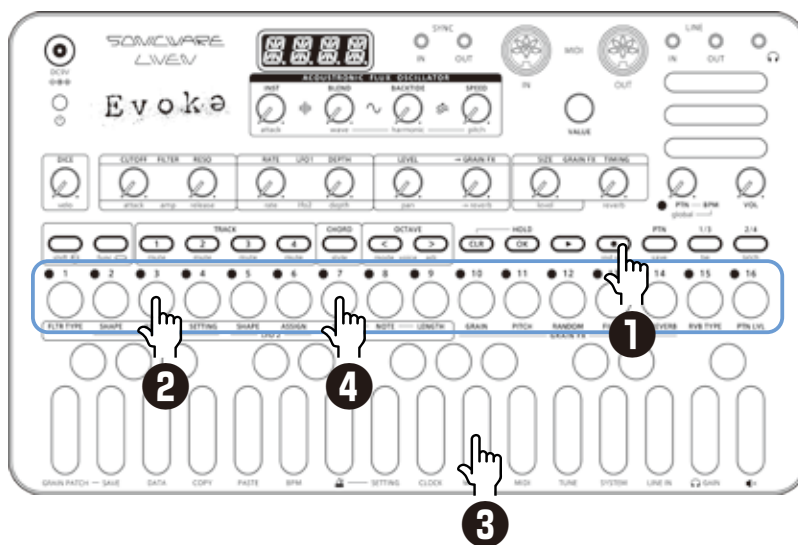
LIVEN Evoke ではタイ付きノート（長音）も入力することができます。

タイ付きノート（長音）の入力を有効にする

- 1 **func** + **tie** を押す。
キーが赤く点灯し、タイ付きノートの入力が有効になります。

タイ付きノート（長音）を入力する

- 1 停止中に **RECORD** を押しステップレコーディングを開始する（赤に点灯）。
- 2 ノートを入力開始したい位置の **1** ～ **16** を押す。
- 3 鍵盤を押しつづける。
- 4 ノートを終了したい位置の **1** ～ **16** を押す。
開始ステップから終了ステップまでのタイ付きノートが入力されます。



上の例では STEP3 から始まり STEP7 で終わるノート（A）が入力されます。



- ・手順 4 で **1/3**、**2/4** を押すことでページをまたぐタイ付きノートを入力することも可能です。
- ・シーケンスの終端から先端へまたぐタイ付きノートは入力できません。

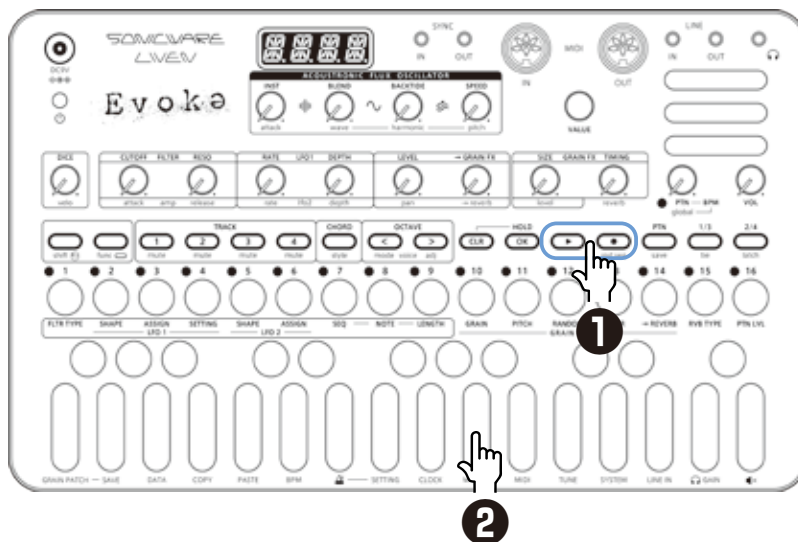
シーケンスの作成 –リアルタイムレコーディング–

リアルタイムに鍵盤演奏しながらシーケンスを作成することができます。

基本操作

1 を押したあと を押す。

2 パターンが再生されるので
入力したい位置で鍵盤を弾く。



- **func** + **tie** を押してタイ付きノートの入力を有効にすればステップをまたぐ長音も入力できます。

シーケンスの作成 リアルタイムレコーディング

メトロノームをオン/ オフする

1  +  METRO を押してオン/ オフを切替。



メトロノームの音量を調節する

1  +  SETTING -  METRO を押し、VOL を選択。



2  VALUE で、メトロノームの音量を調節。


VALUE

Metronome
0 ~ 15

プリカウントを設定する

1  +  SETTING -  METRO を押し、PR.CT を選択。



2  VALUE で、プリカウントを変更。


VALUE

Precount
OFF、1 ~ 8



- ・プリカウントが設定されている場合、プリカウント後にレコーディングが始まります。
- ・プリカウントを OFF 以外、 VOL を 1 以上に設定してメトロノームをオフにすることで、リアルタイムレコーディング時にプリカウントのみ発音させることができます。
- ・リアルタイムレコーディング中はパラメーターロックをリアルタイムで入力することができます。

シーケンスの作成 ーダイレクトレコーディングー

ダイレクトレコーディングでは、停止中、再生中どちらの状態でも直接ステップにノートを入力することができます。

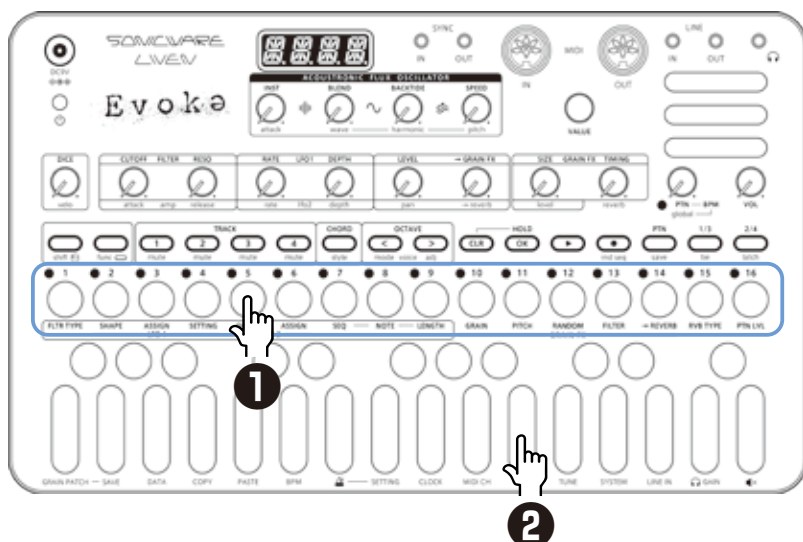
特に再生中にノートを直接入力するやり方は、シーケンスをビルトアップしながらパフォーマンスすることに適しています。

基本操作

1 ノートを入力したい位置の ❶ ～ ❷ を押しながら

2 鍵盤を押してステップにノートを入力

手順1、2は順序が異なってもノートを入力することができます。



シーケンスの作成 ーダイレクトレコーディングー



- ・手順 1 の前に **1/3**、**2/4** を押すことで STEP17 以降が配置されているページを選択することができます。

ステップ 1 ～ 16 の選択：1/3 キーを 1 回押す。



ステップ 17 ～ 32 の選択：2/4 キーを 1 回押す。



ステップ 33 ～ 48 の選択：1/3 キーを 2 回押す。



ステップ 49 ～ 64 の選択：2/4 キーを 2 回押す。



- ・再生中に **1/3**、**2/4** を押すと表示中のページが固定されます。

OK を押すと解除されます。

シーケンスの作成 — 設定 —

ゲート

1 ステップあたりのゲートの長さを変更できます。

1 **func** + **7** SEQ を 1 回押し、GATE を選択する。

GATE

2  VALUE を回して、ゲートの長さを変更する。


VALUE

Gate
10 ~ 90

トランスポーズ

1 **func** + **7** SEQ を 2 回押し、TRSP を選択する。

TRSP

2  VALUE を回して、キーを変更する。


VALUE

Transpose
-12 ~ +12 (1 で半音変化)



- ・パターンの再生中にキーを変更した場合、再生位置がパターンの先頭にきたときに再生されるキーが変更されます。
- ・トランスポーズはシーケンサーでの発音にのみ有効です。

シーケンスの作成 — 設定 —

スウィング

トラックのスウィング量を変更できます。

1  +  SEQ を 4 回押し、SWNG を選択する。

SWNG

2  VALUE を回して、スウィング量を変更する。


VALUE

Swing

0 ~ 75 (%)

パラメーターロック

LIVEN Evoke では、ノブの操作をステップに記録させることができる**パラメーターロック**機能を搭載しています。

時間の経過とともにサウンドを変化させることができ、表現力豊かなパターンの作成に役立ちます。

パラメーターロック情報の入力方法は下記 2 つの方法があります。

ダイレクト入力

①～⑬を押しながらノブを回して直接入力する基本的な方法

リアルタイム入力

再生中にリアルタイムにノブを操作しその動きを記録する方法

パラメーターロックの基本操作

パラメーターロック情報のクリア

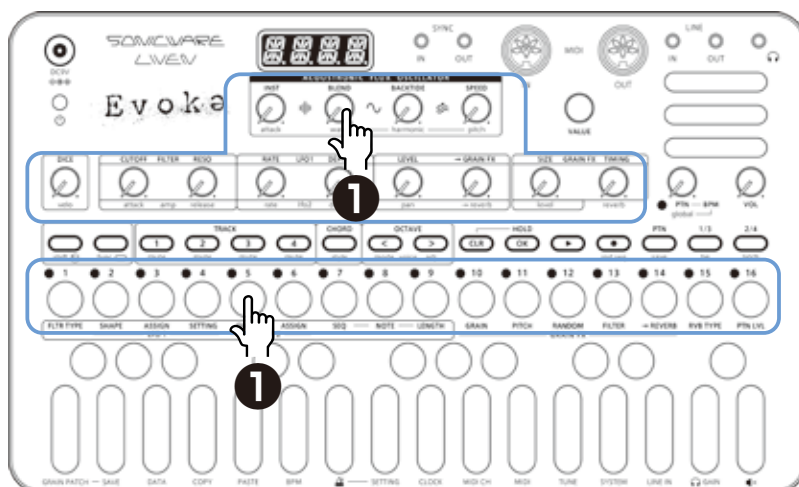
- 1 **CLR** + トラック **1** ～ **4**
- 2  VALUE を回して、P.LCK を選択する。
- 3 **OK** を押す。
パラメーターロック情報がクリアされます。



パラメーターロック ーダイレクト入カー

ノブの操作を記録する

1 ①～⑯を押しながら、⑰ノブを操作。

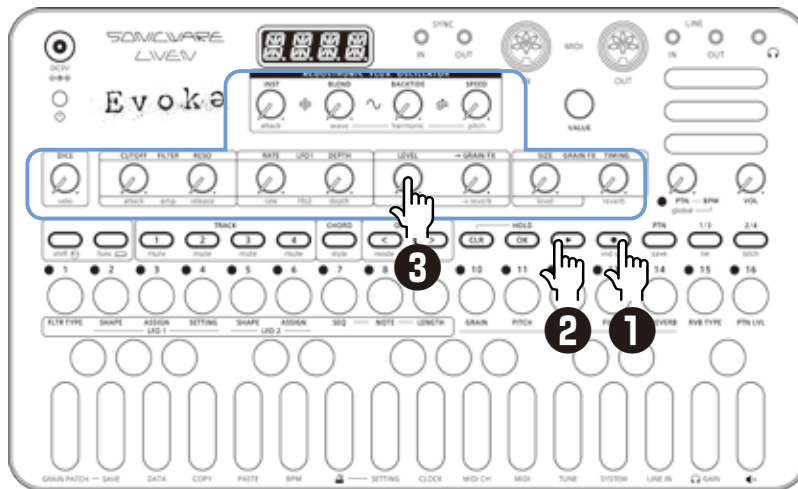


- ・ ①/③、②/④を押すことで STEP17 以降が配置されているページを選択することができます。
- ・ 複数のステップキーを押しながらノブを操作することで、同時にパラメーターロックを入力することも可能です。
- ・ SIZE、TIMING、level (グレイン FX)、reverb、BPM、VOL はパラメーターロック対象外です。
- ・ INST をパラメーターロックする場合、INST のみロック対象となります。その他の連動するパラメーターはロックされないの、個別にロックする必要があります。

パラメーターロック –リアルタイム入カー

リアルタイム入力をする (パラメーター REC)

- 1 を押す (赤に点灯)。
- 2 を押しパターンを再生。
- 3 ノブを操作して記録。



シーケンスエフェクト

LIVEN Evoke は、フレーズのランダム化が可能な**ランダム**機能を搭載しています。

ランダム

- 1  +  を押す。
ON にするとランダム化されたシーケンスが再生されます。
ランダムを OFF にするには再度  +  を押してください。

ランダム設定

ランダム再生時にランダム化する最小単位（1 ステップごと、4 ステップごと等）を設定できます。

- 1  +  SEQ を 3 回押し、 VALUE で調整する。


VALUE

Randomize Step
OFF, 1, 2, 4, 8, 16 (単位：ステップ)
OFF にするとランダム再生が ON になっていてもランダム化されません

ランダムのオン / オフ設定はパターンに保存され、ランダム設定はトラックごとに保存できます。

ダイス

- 1  DICE を回す。
トラックのノートの発音確率を 25 ~ 100% の範囲で調整できます。
voice mode を ARP に設定している場合、アルペジエーターの発音確率も変わります。



・パラメーターロック機能でステップごとの発音確率を設定することもできます。

シーケンスの消去

ステップのクリア

- 1 **CLR** + **1** ~ **16** を押す。
そのステップのノート情報とパラメーターロック情報がクリアされます。



- ・ **CLR** を押している間、パラメーターロック情報があるステップは赤で点滅します。

シーケンスのノート情報を全てクリアする

- 1 **CLR** + **1** ~ **4** のクリアしたい
シーケンスの入ったトラックを押す。

NOTE

- 2  VALUE で NOTE を選択し **OK** を押す。
シーケンスの全ステップに入っている全ノートが
クリアされます。

CLR

トラックの音色だけ前回保存した状態に戻す

- 1 **CLR** + **1** ~ **4** の音色を戻したいトラックを押す。

- 2  VALUE を回して、SND を選択し、
OK を押す。

SND

パターンの保存

各トラックで作成したシーケンスは、パターンとして保存します。

パターンを保存する（またはコピーする）

1 **func** + **save** を押す。

2 **OK** を押す。
DONE と表示され、保存されます。



保存先を変えたい場合、または**パターンをコピー**したい場合は、

1 **func** + **save** を押す。

2 **<**、**>** で保存先バンクを選択。

3 **1** ～ **16** で保存先パターンを選択。
DONE と表示され、保存されます。



・手順 2 で **VALUE** でも保存先の選択ができます（**OK** で実行）

・各手順の途中で **CLR** を押すとキャンセルできます。

パターンを初期化する

1 初期化したいパターンを選択。
（→ P.15）

2 **CLR** + **PTN** を押す。
CLR と表示され、パターン設定、
ノートとパラメーターロック情報が
全て消去されます。



3 パターンを保存。

パターンのリネーム

パターンをリネームする

- 1 **func** + **DATA** を数回押し
PT.RN (**P**attern **R**ename) を選択。

PT.RN

- 2 **VALUE** でリネームしたいパターンを
選択し **OK** を押す。

- 3 **<**、**>** でカーソルを左右に移動、
VALUE を回して文字を選択する。

NAME

カーソル位置は点滅

- 4 **OK** を押す。
リネームが保存され、パターン選択に戻ります。
続けてリネームするには手順2から繰り返して
ください。
リネームを終えるには **CLR** を押してください。

DONE

テンポについて

LIVEN Evoke には 2 つの BPM モードがあります。

パターン BPM モード

パターンチェンジした際、パターンに保存されているテンポ情報を使って BPM を再設定します。

グローバル BPM モード

パターンチェンジした際も引き続き現在のグローバル BPM 値に従って動作します。

一定のテンポでジャムセッションを進行したい場合はグローバル BPM モードを、パターンごとにテンポを変えたい場合はパターン BPM モードを選択してください。

BPM モードを設定する

1  +  BPM を押し、設定を変更する。

BPM	
BPM モード	
	パターン BPM モード
	グローバル BPM モード

BPM の設定はテンポを変更するを参照（→ P.27）

LINE IN の設定

ゲインを変更する

1  +  LINE IN を押し、GAIN を選択。

GAIN

2  VALUE を回し、ゲインを変更する。


VALUE

Gain	
MUTE	~ 127

モノラル / ステレオを設定する

1  +  LINE IN を押し、MONO を選択。

MONO

2  VALUE を回し、ON / OFF を変更する。


VALUE

Mono	
ON	モノラル
OFF	ステレオ

リバーブへのセンド量を設定する

1  +  LINE IN を押し、→ RV を選択。

-- : RV

2  VALUE を回し、センド量を変更する。


VALUE

Reverb send	
OFF	LINE IN にリバーブがかかりません。
1 ~ 127	リバーブへのセンド量を調整します。

LINE IN の設定

グレイン FX へのセンド量を設定する

1  +  LINE IN を押し、→ GR を選択。



2  VALUE を回し、センド量を変更する。


VALUE

GrainFX send	
OFF	LINE IN にグレイン FX がかかりません。
1 ~ 127	グレイン FX へのセンド量を調整します。

外部機器とのクロック同期 ークロック設定ー

概要

LIVEN Evoke には下記の同期方法が用意されています。

SYNC

SYNC IN/OUT 端子を使って SYNC 対応機器（Korg 社 Volca シリーズなど）と同期します。

MIDI

MIDI IN/OUT 端子を使って MIDI 対応機器と同期します。

Audio Sync

LINE IN/Headphone OUT 端子を使って Audio Sync 対応機器（Teenage Engineering 社 Pocket Operator シリーズなど）と同期します。

Audio Sync で同期する場合、やり取りするオーディオはモノラルになります。

また、LIVEN Evoke はクロックマスターになることも、外部機器からのクロックを受けることもできます。

外部機器とのクロック同期 ークロック設定ー

クロックソースの設定をする

INT (INTernal) に設定した場合、LIVEN Evoke はクロックマスターになります。
INT 以外に設定した場合、外部機器がクロックマスターになります。

1  +  を押し、SRC を選択。

SRC

2  VALUE を回し、クロックソースを設定する。


VALUE

Clock Source	
INT	LIVEN Evoke 内部のクロックを使用します
MIDI	MIDI IN のクロックを使用します
SYNC	SYNC IN のクロックを使用します
LN.IN	LINE IN のクロックを使用します

Audio Sync 出力の設定をする

Audio Sync 出力にはヘッドホン端子を使用します。
そのため、Audio Sync 出力をする場合、下記の設定を行ってください。

1  +  を押し、A.OUT を選択。

A.OUT

2  VALUE を回し、ON を選択。



- ・ヘッドホンの L 側から同期信号が、R 側からモノラルミックスされたオーディオが出力されます。

外部機器とのクロック同期 ークロック設定ー

SYNC IN の極性を設定する

1  +  を押し、S.I.P.O を選択。

S.I.P.O

2  VALUE を回し、極性を設定する。


VALUE

Polarity - Sync In	
FALL	同期信号の立ち下がりで同期します
RISE	同期信号の立ち上がりで同期します

SYNC OUT の極性を設定する

1  +  を押し、S.O.P.O を選択。

S.O.P.O

2  VALUE を回し、極性を設定する。


VALUE

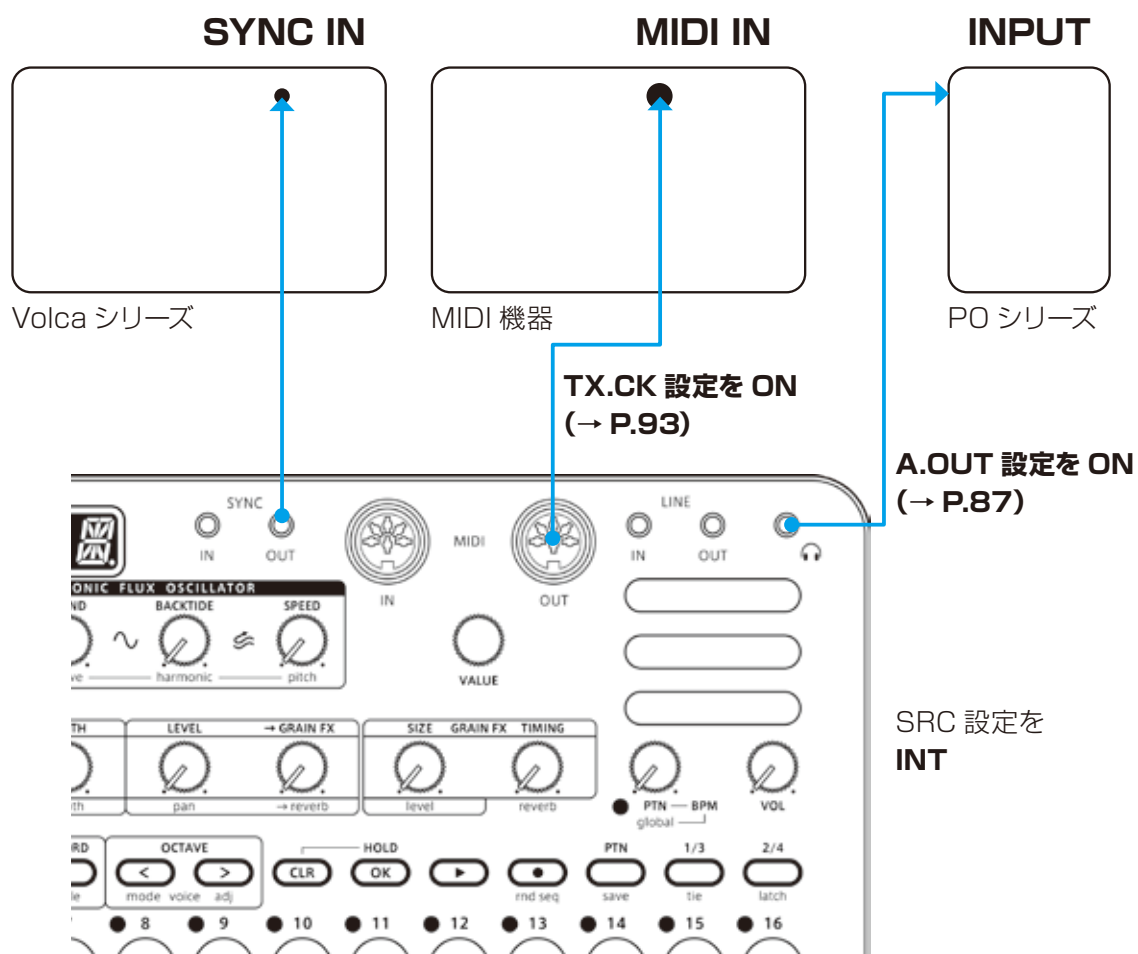
Polarity - Sync Out	
FALL	同期信号の立ち下がりで同期します
RISE	同期信号の立ち上がりで同期します



・MIDI クロックの設定については (→ P.93) をご覧ください。

外部機器とのクロック同期 ー接続例ー

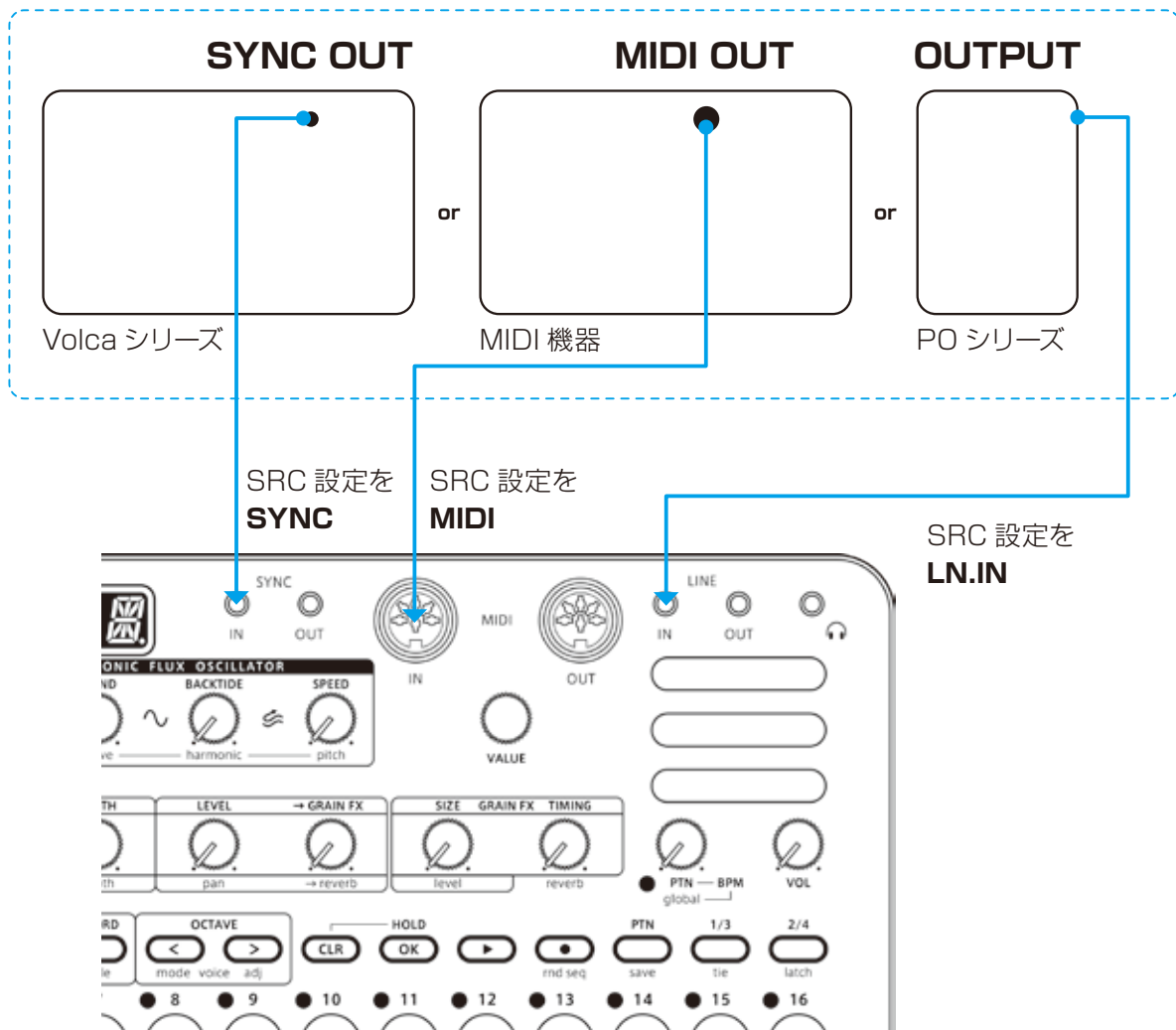
LIVEN Evoke がクロックマスターの場合



外部機器とのクロック同期 ー接続例ー

外部機器がクロックマスターの場合

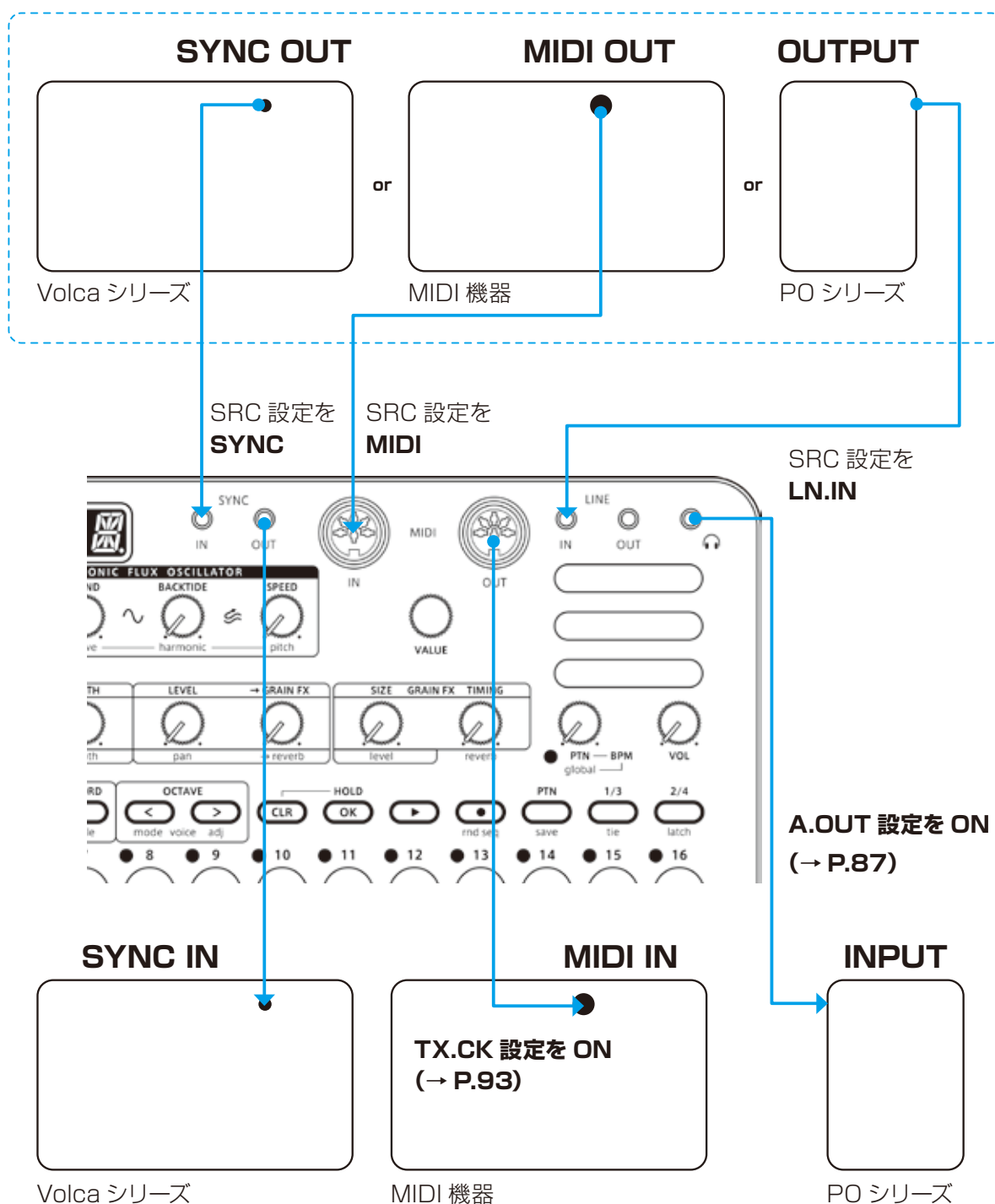
クロックマスター機器はいずれか1つにしてください



外部機器とのクロック同期 ー接続例ー

クロックマスターである外部機器のクロックを他の端子にブリッジする場合

クロックマスター機器はいずれか1つにしてください



ブリッジ接続をすると、例えばクロックマスターの PO シリーズから、LIVEN Evoke に接続された volca や MIDI 機器などジャックの異なる機器を同期させることができます。

MIDI

MIDI 送受信チャンネルを設定する

- 1  +  MIDI CH を押し、MIDI チャンネルを設定したいトラックを選択。

T 1.CH

- 2  VALUE を回し、チャンネルを設定する。

T 4.CH


VALUE

MIDI Channel - Track

OFF、CH.01 ~ CH.16

パターン用パラメーターの MIDI チャンネルを設定する

- 1  +  MIDI CH を押し、PT.CH を選択。

P T.CH

- 2  VALUE を回し、チャンネルを設定する。


VALUE

MIDI Channel - Pattern

OFF、CH.01 ~ CH.16

選択したトラックにアクセスするための MIDI チャンネルを設定する (オートチャンネル)

- 1  +  MIDI CH を押し、AT.CH を選択。

A T.CH

- 2  VALUE を回し、チャンネルを設定する。


VALUE

MIDI Channel - Auto

OFF、CH.01 ~ CH.16

MIDI

鍵盤を弾いたときに出力される MIDI チャンネルを設定する

1  +  MIDI CH を押し、O.CH を選択。

O.CH

2  VALUE を回し、設定する。


VALUE

MIDI Channel - Out

TRCK (Track)、AUTO

コントロールチェンジの送信を ON/OFF する

1  +  MIDI CH を押し、TX.CC を選択。

TX.CC

2  VALUE を回し、ON/OFF を設定する。


VALUE

Control Change

ON、OFF



・コントロールチェンジの受信は常に有効です。

MIDI クロックの出力を ON/OFF する

1  +  MIDI CH を押し、TX.CK を選択。

TX.CK

2  VALUE を回し、ON/OFF を設定する。


VALUE

MIDI Clock

ON、OFF

MIDI

MIDI OUT の設定をする

1  +  を押し、M.OUT を選択。

M.OUT

2  VALUE を回し、MIDI OUT を設定する。


VALUE

MIDI OUT

OUT、THRU

MIDI コマンドの送受信の設定をする

1  +  を押し、M.CMD を選択。

M.CMD

2  VALUE を回し、MIDI コマンドを設定する。


VALUE

MIDI Command

OFF	送受信しない
Rx	受信のみ
Tx	送信のみ
Rx,Tx	送受信する

アクティブセンシングの送信の ON/OFF を設定する

1  +  を押し、TX.AS を選択。

TX.AS

2  VALUE を回し、ON/OFF を設定する。


VALUE

Active Sensing - Transmit

ON、OFF

MIDI

アクティブセンシングの受信の ON/OFF を設定する

1  +  MIDI を押し、RX.AS を選択。

RX.AS

2  VALUE を回し、ON/OFF を設定する。


VALUE

Active Sensing - Receive

ON, OFF

プログラムチェンジの送受信チャンネルの設定をする

1  +  MIDI CH を押し、PC.CH を選択。

PC.CH

2  VALUE を回し、プログラムチェンジチャンネルを設定する。


VALUE

Program Change - Channel

AUTO, CH.01 ~ CH.16

プログラムチェンジの送信を ON/OFF する

1  +  MIDI を押し、TX.PC を選択。

TX.PC

2  VALUE を回し、ON/OFF を設定する。


VALUE

Program Change - Transmit

ON, OFF

MIDI

プログラムチェンジの受信を ON/OFF する

1  +  MIDI を押し、RX.PC を選択。



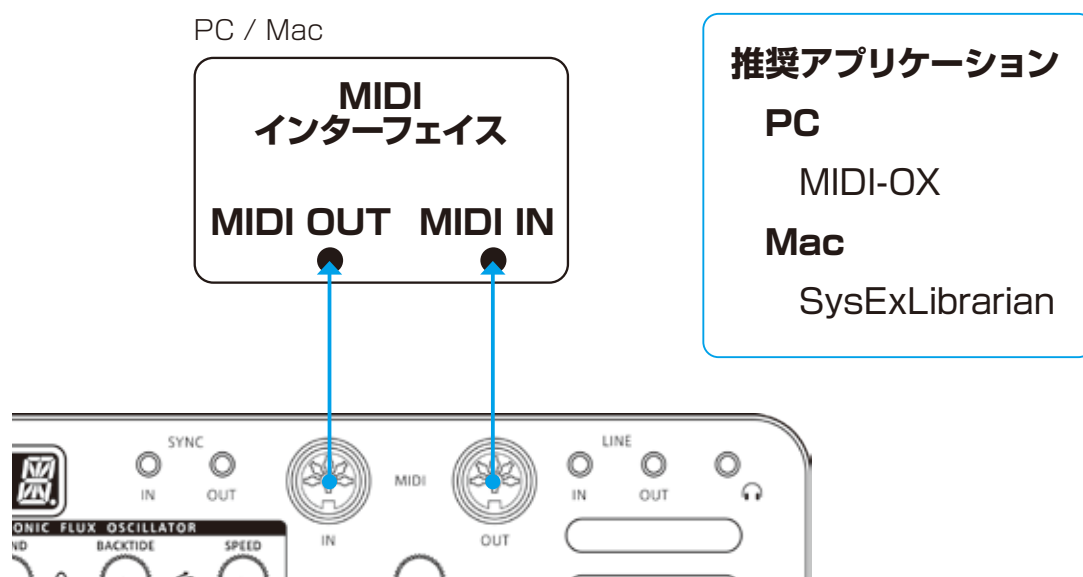
2  VALUE を回し、ON/OFF を設定する。


VALUE

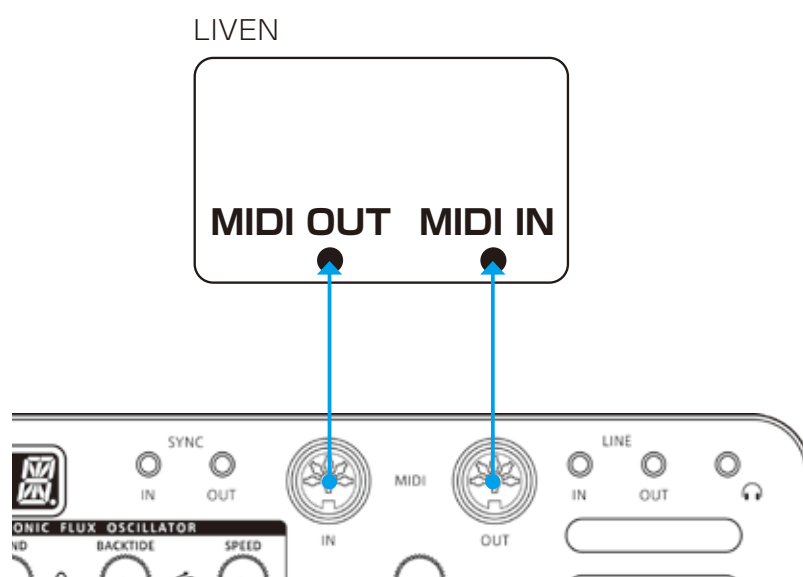
Program Change - Receive
ON、OFF

ユーザーデータのエクスポート・インポート

接続について – PC/Mac とエクスポート・インポートする場合–



接続について –もう一台の LIVEN とエクスポート・インポートする場合–



ユーザーデータのエクスポート・インポート

1つのパターンをエクスポートする

1 エクスポートしたいパターンを選択する。(→ P.15)

2 **func** + **DATA** を押し、PT.EX を選択。

PT.EX

3 MIDI データの受信側を待機状態にする。

4 **OK** を押す。

DONE



- ・ **CLR** でキャンセルできます。

1つのパターンをインポートする

1 通常モードにし、送信側でデータの送信を開始する。



- ・ 受信したパターンは自動で保存されません。必要に応じてパターンを保存してください。(→ P.81)

ユーザーデータのエクスポート・インポート

ユーザーデータを丸ごとバックアップする

1  + POWER スイッチを押し、LIVEN Evoke を起動する。

2  VALUE を回し、EXPT を選択する。

EXPT

3  を押す。

DONE



- ・ ステップ LED が進行状況を示します（①から順々に点灯していき、①～⑯が全て点灯したら転送完了）。
 - ・  でキャンセルできます。
 - ・ バックアップデータサイズは 2,579,550 バイトです。
 - ・ データサイズが異なる場合はバックアップに失敗している可能性があるの
で、手順③の前に  を押しながら  VALUE を回して、通信間隔を大きく
してください（初期値は 0 です）。
-

ユーザーデータのエクスポート・インポート

ユーザーデータを復元する

1  + POWER スイッチ を押し、LIVEN Evoke を起動する。

2  VALUE を回し、IMPT を選択する。

IMPT

3  を押す。受信待機状態になります。
送信側でエクスポートを実行してください。

4 受信完了後にディスプレイに SAVE が表示され、
 を押すと受信されたデータが復元されます。

SAVE

DONE



- ・ ステップ LED が進行状況を示します（ から順々に点灯していき、 ～  が全て点灯したら転送完了）。
 - ・  でキャンセルできます。
-

システム設定

バッテリーの種類を設定する

1  +  を 7 回押し、BATT を選択。

BATT

2  VALUE を回し、バッテリーの種類を選択する。


VALUE

Battery	
ALKL	アルカリ乾電池
NIMH	ニッケル水素充電電池
LTHM	リチウム乾電池



- ・本体の使用時間に影響するため、正しく設定してください。
- ・充電式電池の種類によっては、実際より残量が多く表示される場合があります。

オートパワーオフの設定をする

1  +  を 8 回押し、A.PWR を選択。

A.PWR

2  VALUE を回し、オートパワーオフ時間を選択する。


VALUE

Auto Power	
OFF	オートパワーオフしない
0.5H	操作が無くなってから 30 分後にオートパワーオフを行います
1H	操作が無くなってから 1 時間後にオートパワーオフを行います
3H	操作が無くなってから 3 時間後にオートパワーオフを行います
6H	操作が無くなってから 6 時間後にオートパワーオフを行います

システム設定

ミュートモードを変更する

1  +  を 3 回押し、MT.MD を選択。



2  VALUE を回し、ミュートモードを変更する。


VALUE

Mute Mode	
SN	トラックのすべてのサウンドをミュートします。
SEO	トラックのシーケンサーに入力されたノートのみミュートします。鍵盤や外部 MIDI ノートでの演奏が可能です。また、パラメーターロック情報も演奏に反映されます。

マスターチューンを設定する

1  +  を 1 回押し、TUNE を選択。



2  VALUE を回し、マスターチューンを選択する。


VALUE

Master Tune
-75 ~ 0 ~ +75 (単位 : Cent)
410 ~ 440 ~ 470 (単位 : Hz)



- ・チューンモード (→ P.103) が HZ に設定されている場合、 を押しながら  VALUE を回すことで 0.1 単位で値を変更することができます。

システム設定

チューンモードを変更する

1  +  を 2 回押し、TN.MD を選択。

T N . M D

2  VALUE を回し、チューンモードを変更する。

Tune Mode		
CENT	CENT モード	マスターチューンを変更した際、± 75 Cent の範囲で設定できます。
Hz	Hz モード	マスターチューンを変更した際、410 ~ 470Hz の範囲で設定できます。

ピッチベンドの範囲を変更する

1  +  を 3 回押し、PB.RG を選択。

P B . R G

2  VALUE を回し、ピッチベンドの範囲を設定する。


VALUE

Pitch Bend Range
0 ~ 24

ヘッドフォンのゲインを設定する

1  +  を押す。

Headphone Gain	
LOUD	より大きな出力
NORM	工場出荷時
SOFT	より小さな出力

システム設定

ノブの動きの設定をする

1 **func** + **latch** を押し、ノブ操作時にラッチ処理をするか設定する。

Latch			
 latch	OFF	Jump	ノブを操作したときに直ちにパラメーターが反映されます
 latch	ON	Latch	ノブの位置がパラメーター値に来るまではパラメーターが変化せず、ノブがパラメーター値に来た後は追従します



- ・ Latch の場合、ノブの位置とパラメーター値が左右のどちらにどの程度離れているかわかるようディスプレイのドットがアニメーションします。
パラメーター値がノブ位置より小さい時はドットが左に流れるように点灯、大きい時は右方向に点灯します。値が離れているほど速く流れます。

システム設定

工場出荷状態に戻す（ファクトリーリセット）

- 1 **3** + **POWER スイッチ**を長押し、
LIVEN Evoke を起動する。

F.R.S.T

- 2 **OK** を押す。
ステップ LED で進行状況を表し、ディスプレイに
OK と表示されたら完了です。

OK



- ・ **CLR** でキャンセルできます。

システムのバージョンを確認する

- 1 **2** + **POWER スイッチ**を長押し、
LIVEN Evoke を起動する。

VER

- 2 **PTN**、**1/3**、**2/4** を押して確認する。

Firmware Version		
PTN	P 1.1	プリセットバージョン
1/3	S 1.1	システムバージョン
2/4	B 1.1	ブートバージョン

メジャーバージョン

5 1.1

マイナーバージョン



- ・ もう一度同じ **PTN**、**1/3**、**2/4** を押すと、ビルド番号が表示されます。

システム設定

ファームウェアをアップデートする

- 1** **shift** + **POWER スイッチ**を長押し、
LIVEN Evoke を起動する。



- 2** PC / Mac からファームウェアを送信する
(Sys.Ex データ)。



- ・ ステップ LED がデータ送信の進行状況を表します（**1** から順々に点灯していき、**1** ～ **16** が全て点灯したら転送完了です）。

- 3** 受信が完了したら **OK** を押して
アップデートを実行する。



- ・ アップデートが正常に行われた場合はディスプレイに OK と表示されます(異常があった場合エラーコードが表示されます)。

- 4** 本体を再起動する。



- ・ 新品の電池もしくは AC アダプターをご使用ください。
- ・ ファームウェアのアップデート中は、絶対に電源を切らないでください。
- ・ **CLR** でアップデートをキャンセルし、通常起動します。

システム設定

エラーコード一覧

ER.10	システムエラー
ER.11	Low Battery
ER.20	データ受信エラー
ER.21	不正データ
ER.22	アップデート不要 (Boot)
ER.30	アップデート失敗

付録

コードセット一覧

Chord set									
No	セット名		C	D	E	F	G	A	B
1	DIAT	コード名	Cmaj7	Dm7	Em7	Fmaj7	G7	Am7	Bm7♭5
		構成音	B4	C5	D5	E5	F5	G5	A5
			G4	A4	B4	C5	D5	E5	F5
			E4	F4	G4	A4	B4	C5	D5
			C4	D4	E4	F4	G4	A4	B4
2	VAR.1	コード名	C	Dm	Em	Fmaj7	Am/G	Am	Bm6
		構成音	G4	A4	B4	C5	C5	C5	D5
			E4	F4	G4	A4	A4	A4	B4
			C4	D4	E4	E4	E4	E4	G4
			C3	D3	E3	F3	G3	A3	B3
3	VAR.2	コード名	C	Dm	Em	Fmaj7	Am/G	Am	Bm
		構成音	C5	D5	E5	E5	E5	E5	F#5
			G4	A4	B4	C5	C5	C5	D5
			E4	F4	G4	A4	A4	A4	B4
			C3	D3	E3	F3	G3	A3	B3
4	VAR.3	コード名	C	Dm	Em	C	G	Am	Bm
		構成音	E4	F4	G4	A4	B4	C5	D5
			C4	D4	E4	F4	G4	A4	B4
			G3	A3	B3	C4	D4	E4	F#4
			C3	D3	E3	F3	G3	A3	B3
5	AMB.1	コード名	Cadd11 (no5)	Dm	Fmaj7 (no3)/E	Fsus4	Am7 (no5)/G	Am	Bmadd11 (no5)
		構成音	C4	D4	E4	F4	G4	A4	B4
			F3	A3	C4	C4	C4	E4	E4
			E3	F3	F3	A#3	A3	C4	D4
			C3	D3	E3	F3	G3	A3	B3
6	AMB.2	コード名	Cmaj7 sus4	D7(13) no3	E7(no3)	G7(no3) /F	Csus4 /G	Dsus4 /A	Bm7 (no5)
		構成音	C4	D4	E4	D5	G4	A4	B4
			B3	C4	D4	G4	F4	G4	A4
			F3	B3	B3	D4	C4	D4	D4
			C3	D3	E3	F3	G3	A3	B3

付録

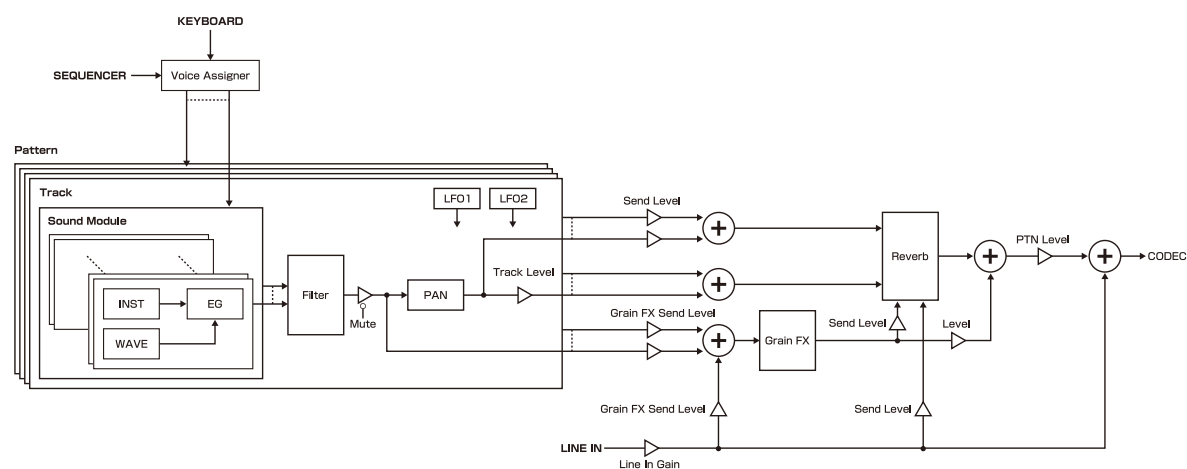
Chord set									
No	セット名		C	D	E	F	G	A	B
7	AMB.3	コード名	Cadd9 (no5)	D7(13) no3	Cmaj7	Fmaj7 (no3)	Gsus4	Asus4	Em/B
		構成音	E4	D4	C5	F4	G4	A4	B4
			D4	C4	B4	E4	D4	E4	G4
			D3	B3	E4	C4	C4	D4	E4
			C3	D3	C4	F3	G3	A3	B3
8	SUS2	コード名	Cmaj7 sus2	D7sus2	Em7	Fmaj7 sus2	G7sus2	A7sus2	Csus4 /B
		構成音	B4	C5	D5	E5	F5	G5	G5
			G4	A4	B4	C5	D5	E5	F5
			D4	E4	G4	G4	A4	B4	C5
			C3	D3	E3	F3	G3	A3	B3

Chord pad set									
No	セット名		C	D	E	F	G	A	B
9	P1.Am	コード名	C6	F/C	G7/E	Em(no5)	E7(no3)	F/E	Am
		構成音	A5	A5	G5	G5	E5	C5	A5
			G5	F5	F5	E5	D5	F5	E5
			A4	A4	G4	G4	B4	C5	C5
			C4	C4	E4	E4	E4	E4	A4
10	P2.Am	コード名	Dadd9	Am/E	C/E	G/D	Dm	C6	C
		構成音	A4	A5	C5	G5	A4	G5	G5
			E4	C5	G4	B4	F4	A4	E5
			A3	A4	C4	G4	A3	G4	G4
			D3	E3	E3	D3	D3	C4	C4
11	P3.Am	コード名	Dm/F	Dm/F	F (no5) /A	Dm/A	D5/A	Asus4 /E	Dm (no5) /F
		構成音	D5	A5	A5	F5	D5	E5	D5
			A4	D5	F5	D5	A5	D5	F5
			D4	A4	A4	F4	D5	A4	D5
			F3	F3	A3	A3	A3	E4	F4

付録

Chord pad set									
No	セット名		C	D	E	F	G	A	B
12	P4.Am	コード名	Cmaj7 sus4	A9	Am/E	G	Fmaj7 (#11)	D9	Bm7 (no5)
		構成音	C5	G5	E5	B5	F5	C5	D5
			B4	B4	C5	D5	E5	E5	A5
			F4	G4	A4	B4	B4	C5	D5
			C4	A3	E4	G3	F4	D4	B3
13	P5.CM	コード名	F/C	Dm(no3) /C	Dm7 (no5)	F	C6	D (no3) /C	Gsus4 /D
		構成音	C5	F5	D5	F5	A5	A5	D5
			A4	D5	C5	C5	G5	D5	C5
			F4	F4	F4	A4	E4	A4	G4
			C4	C4	D4	F4	C4	C4	D4
14	P6.CM	コード名	C/E	F	Csus4	Em/D	C/E	Am/C	Am7 (no5)
		構成音	E5	F5	C5	G5	E5	C5	A5
			C5	C5	G4	E5	C5	A4	G5
			G4	A4	F4	G4	G4	E4	C5
			E4	F4	C4	D4	E4	C4	A4
15	P7.CM	コード名	Am7 (no5)	Em	Am7/G	C/E	Gadd9	Dm/F	Cadd9
		構成音	A4	E5	G5	E5	D5	F5	G5
			G4	B4	C5	C5	A4	D5	D5
			C4	G4	A4	G4	D4	A4	G4
			A3	E4	G4	E4	G3	F4	C4
16	P8.CM	コード名	C	D7sus4 /A	Em7(#5)	Gsus4 /D	Cadd11 /G	E7(b9)	Dm6/F
		構成音	C5	C5	D5	D5	F5	E5	B5
			G4	G4	C5	C5	E5	D5	D5
			E4	D4	G4	G4	C5	F4	A4
			C4	A3	E4	D4	G4	E4	F4

図 1 サウンドアーキテクチャ



シンセサイザー	・鍵盤ホールド機能 ・128 サウンド・パターン ・各トラックのレベル / パンなどのミキシング ・トラック (サウンド) のコピー&ペースト機能 ・最大同時発音数11 ボイス 4トラック構成 ・うねり / ゆらぎを生み出す新開発 Acoustronic Flux Oscillator ・34 インストゥルメント、22 ウェーブ <ボイスモード> ・ポリフォニックモード ・モノモード (グライド時間 調整可能) ・レガートモード (グライド時間 調整可能) ・アルペジエーターモード (Up, Down, UpDown, DownUp, Up&Down, Down&Up, Up+1, Up+2, Down-1, Down-2, Random, Play Order) <コードモード> ・7つのコードを含んだ16スタイルのコードセット ・選択可能な発音方法 (3音または2音ポリフォニック発音と4音または3音アルペジエーターを選択可能) 各トラックにエンベロープ、フィルター、LFO 2基 装備 <エンベロープ・ジェネレーター> ・アタック ・リリース <フィルター> ・ローパス・フィルター ・ハイパス・フィルター ・バンドパス・フィルター < LFO > ・様々なパラメーターへアサイン可能なLFOを2基装備 (個別に調整可能) ・LFO タイプ、トリガー回数の設定可能
---------	--

仕様

エフェクト	9 種類の高品位リバーブ（トラック毎にリバーブへのセンド量が調整可能） ・ Small.L ・ Small.M ・ Small.H ・ Mid.L ・ Mid.M ・ Mid.H ・ Large.L ・ Large.M ・ Large.H ・ Mirage グレイン FX（トラック毎にグレイン FX へのセンド量が調整可能）
シーケンサー	・ 4トラック ・ 最大 64 ステップ ・ 128 パターン ・ ノート長 1/1 ～ 1/32 ・ リアルタイム / ノンリアルタイム・レコーディング ・ ステップへの直接ノート入力 ・ ロングノート・タイに対応 ・ メトロノーム、プリカウント機能 ・ ステップのコピー&ペースト機能 ・ トラックのコピー&ペースト機能 ・ シーケンスの拡張コピー機能 ・ トランスポーズ機能 ・ パターン BPM / グローバル BPM を設定可能 ・ パターン・チェーン再生機能（ループ再生可能） ・ トラック・レベル / パンを調整可能 ・ ステップ毎にパラメーター設定を記録できる Parameter Lock 機能 ・ ステップ毎に発音確率を 25 ～ 100% に設定可能 ・ ステップをランダムに再生する RANDOM 機能
MIDI	・ ノート、コントロールチェンジ、クロック入出力 ・ ユーザー・データのインポート / エクスポート ・ ファームウェアのアップデート
本体	<鍵盤> 27 鍵盤（ホールド機能付） <ノブ> ・ 15 個のフィジカル・コントロールノブ（サブパラメーター調整時に便利な現在値にノブの物理位置が到達するまで音色変化を行わない LATCH 機能付） ・ 1 個のフィジカル・エンコーダー（ファインコントロール可能） <オーディオ入力> ・ LINE IN（ステレオ・ミニジャック） / PO シリーズ互換オーディオ SYNC IN 機能付

仕様

本体	<オーディオ出力> ・ステレオ LINE OUT (ステレオ・ミニジャック) ・ヘッドホン・アウト (ステレオ・ミニジャック) / PO シリーズ互換オーディオ SYNC OUT 機能付 ・内蔵スピーカー <端子類> ・MIDI IN 端子 (DIN 型) ・MIDI OUT 端子 (DIN 型) ・SYNC IN 端子 (モノラル・ミニジャック) ・SYNC OUT 端子 (モノラル・ミニジャック) <外形> 297mm (W) × 176mm (D) × 48mm (H) <重量> 約 790g <電源> ・DC9V 出力 AC アダプター (1A 以上、EIAJ3 規格 内径 1.7mm 外径 4.75mm、センター +) ・単三電池x 6 本 ※電源アダプター、電池は付属しません。
付属品	・保証書